

# リモートアクセス設定かんたんマニュアル

## 2026年3月2日版

はじめに①	リモートアクセス接続の種類について	・・・P1
はじめに②	利用開始前に届く アカウント設定完了メールについて	
1.	リモートアクセス接続先情報の確認	・・・P4
	<small>※リモートデスクトップ接続での利用の方のみ（社内LAN接続での利用の場合は不要です）</small>	
2.	リモートデスクトップされる端末の設定	
	（1）Windows10編	・・・P5
	PC環境設定（リモートデスクトップ許可・電源設定）	
	端末のIPアドレス固定設定	
	【参考】ログイン時のユーザー名確認方法	
	（2）Windows11編	・・・P9
	PC環境設定（リモートデスクトップ許可・電源設定）	
	端末のIPアドレス固定設定	
	【参考】ログイン時のユーザー名確認方法	

# リモートアクセス設定かんたんマニュアル

## 2026年3月2日版

### 3.外出先に持ち出す端末への設定

- (1) Windows10端末編** **・・・P14**
  - 事前設定** (VPN設定)
  - 接続手順** (社内LAN接続/リモートデスクトップ接続)
  - 【参考】Windows8.1端末の事前設定・VPN接続手順
  - 【参考】VPN接続できないときの主な対処法
  - 【参考】リモートデスクトップアプリの接続ができないときの主な対処法
  
- (2) Windows11端末編** **・・・P22**
  - 事前設定** (VPN設定)
  - 接続手順** (社内LAN接続/リモートデスクトップ接続)
  
- (3) MacOS端末編** **・・・P27**
  - 事前設定** (VPN設定・リモートデスクトップ設定)
  - 接続手順** (社内LAN接続/リモートデスクトップ接続)
  - 【参考】VPN接続できないときの主な対処法
  
- (4) iOS/Android/ChromeOS端末編** **・・・P33**
  - VPN設定・接続手順** (各OS端末別)
  - iOS端末編/Android端末編/ChromeOS端末編
  - リモートデスクトップアプリの設定手順** (全OS共通)

# はじめに①：リモートアクセス接続の種類について

リモートアクセス接続の方法は以下の2種類があります。  
接続方法により特徴、設定項目が異なりますので、あらかじめご確認ください。

## 1 リモートデスクトップ接続

外出先からオフィスの自席PCにアクセスし、遠隔操作する接続方法です。  
(接続先のPC画面が、持ち出し端末に画面転送されます)  
接続先のPC経由で業務システムの確認や社内資料の確認が可能です。

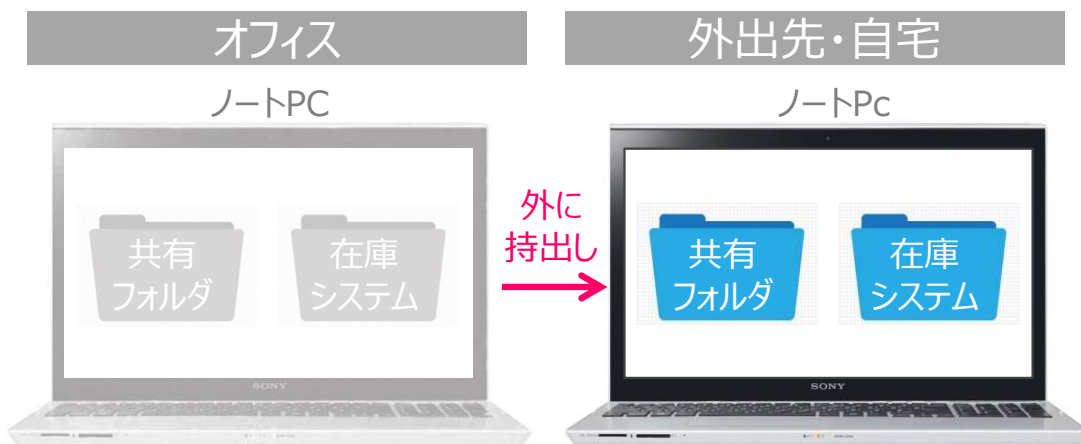


※リモートデスクトップされる端末（自席PC）の対応OSは以下の通りです  
Windows 8.1 (Pro / Enterprise) Windows 10 (Pro / Enterprise)  
Windows 11 (Pro / Enterprise)

※リモートアクセスする端末（外出先に持ち出す端末）の対応OSは以下の通りです。  
Windows : 7 / 8 / 10 / 11 Mac : 10.12 Sierra ~ 15 Sequoia  
iOS : 6 ~ 18 および iPad OS : 14 Android : 7 ~ 11 (12以降非対応)

## 2 社内LAN接続

外出先からオフィスの共有サーバや端末に直接アクセスする接続方法です。  
データファイル等も端末ローカルにダウンロードして作業できます。  
会社で利用してるPCをそのまま外出先に持ち出して業務をされる方におすすめです。



※リモートアクセスする端末（外出先に持ち出す端末）の対応OSは以下の通りです。  
Windows : 8.1 / 10 / 11 Mac : 10.13 High Sierra ~ 15 Sequoia  
iOS および Androidは非推奨

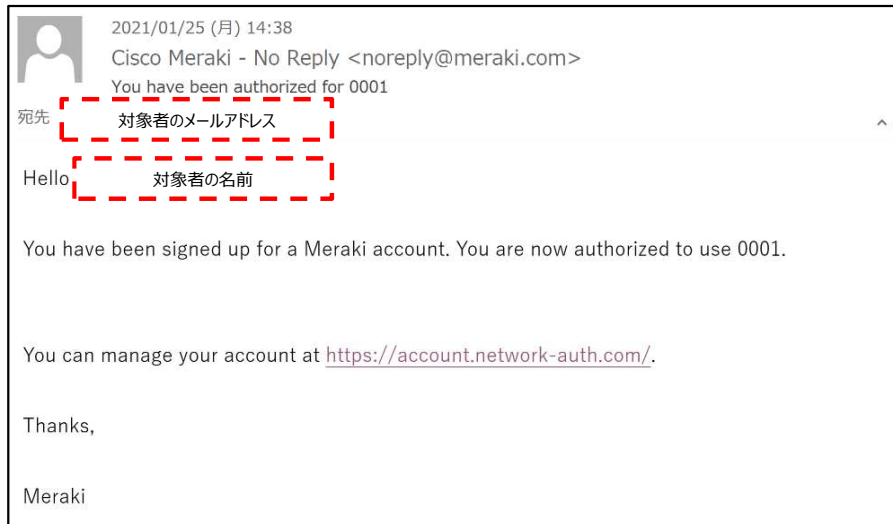
## はじめに②：利用開始前に届くアカウント設定完了メールについて

サポートセンタにてアカウント登録が完了すると、設定依頼書にて申請いただいた各ユーザのメールアドレス宛に設定完了メールが送付されます。（以下のサンプル画像参照）

本メール受信、およびギガらくルーターType-C開通完了後に、リモートアクセス機能の利用を開始することができます。

※迷惑メール等のお客様のメーラ設定により受信できない場合がございますが、サポートセンタで設定が完了している場合はメール受信を確認できなくても利用を開始することができます。

送信元がCisco Merakiとなっておりますが、ギガらくルーターType-Cに関するものですのでご安心ください。



### 【注意】ダッシュボードアカウントのメールアドレスを、リモートアクセス用のアカウントとしても設定（兼用）する場合

ダッシュボードアカウントで使うメールアドレスをリモートアクセス用アカウントでも利用する場合は、上記メールは送付されません。また、事前に行うダッシュボードアカウントのパスワード設定が完了していないと、リモートアクセス機能を利用することができないためご注意ください。

下記の様に、利用開始日前に連絡先確認メール・ダッシュボードアカウントのパスワード設定依頼メールが送付されますので、承認および設定を忘れずに実施してください。

1. サポートセンタから連絡先確認メール（下図参照）が送付されますので、記載内容に沿って承認を行ってください。



2. 連絡先承認後、ギガらくルーターType-Cの登録が完了すると、「CiscoMeraki」よりパスワード設定依頼メールが送付されます。

# はじめに② : 利用開始前に届くアカウント設定完了メールについて

前頁からの続き

1. 利用開始日の前日（土日祝日を除く）までに、「Cisco Meraki」より、以下のメールが届きます。本文内の「Choose your password here」をクリックします。

 **メールは、タイトル・本文ともに英語の文章です。  
迷惑メールと思わず、必ず確認、クリックをしてください。**

差出人 : Cisco Meraki - No Reply noreply@meraki.com  
件名 : Welcome to Cisco Meraki

Hi ○○! You have been signed up for a Cisco Meraki account with administrator privileges to a network in the organization "Gigaraku Promotion." Your login email is

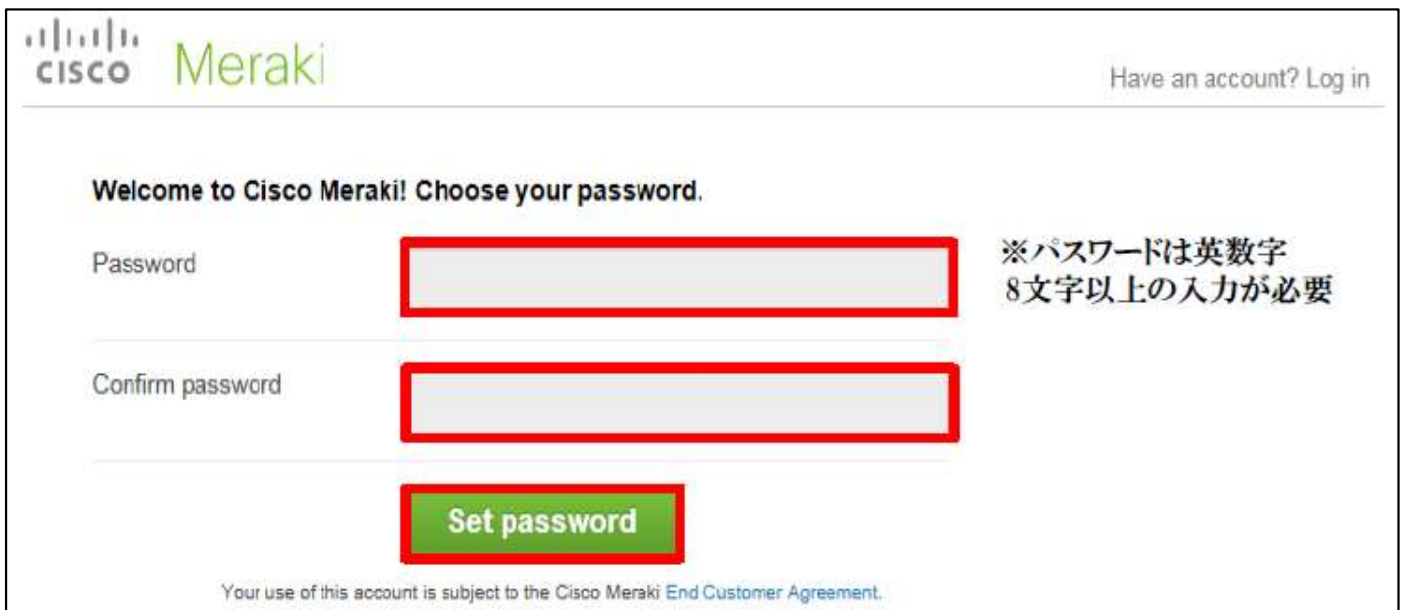
xxxx.xxxx@xxxx.co.jp.

[Choose your password here.](#)

Thanks,  
Cisco Me

? Cisco Meraki とは…  
「ギガらくルーターType-C」装置およびダッシュボードの提供メーカーです

2. パスワード設定画面が表示されるので、任意のパスワードを入力します。パスワード入力後、「Set password」ボタンをクリックします。



**Welcome to Cisco Meraki! Choose your password.**

Password

Confirm password

**Set password**

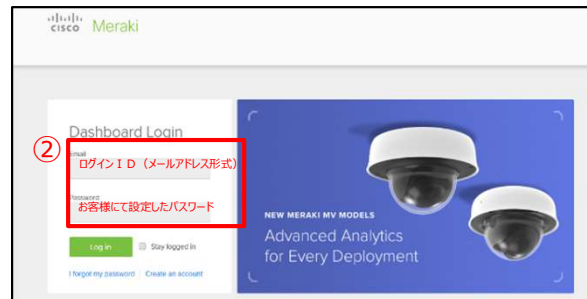
※パスワードは英数字  
8文字以上の入力が必要

Your use of this account is subject to the [Cisco Meraki End Customer Agreement](#).

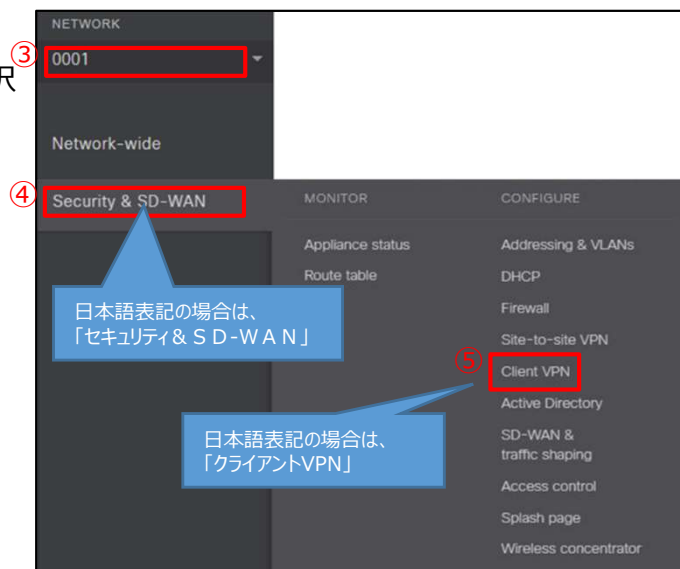
以上で設定は完了です。

# 1.リモートアクセス接続先情報の確認

- ① ギガらくルーターType-Cのダッシュボードにアクセスします  
[https://account.meraki.com/secure/login/dashboard\\_login](https://account.meraki.com/secure/login/dashboard_login)
- ② 必要情報を入力し、ダッシュボードにログインします



- ③ リモートアクセス先となる拠点のNW名を選択します
- ④ 「Security&SD-WAN (セキュリティ&SD-WAN)」を選択
- ⑤ 「ClientVPN (クライアントVPN)」を選択



- ⑥ Hostname (ホスト名) に記載の情報をメモします  
※本情報は、本頁以降の設定で使用します



以上で本頁の確認手順は終了です。


# 2.リモートデスクトップされる端末の設定 Windows10編

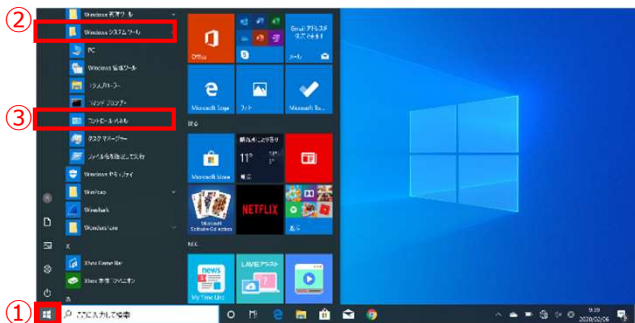
## (1) PC環境設定 ※リモートデスクトップ接続を利用する場合のみ実施

以下の設定は管理者アカウントでログイン、または管理者アカウントをお持ちの方へ依頼し設定を実施してください。

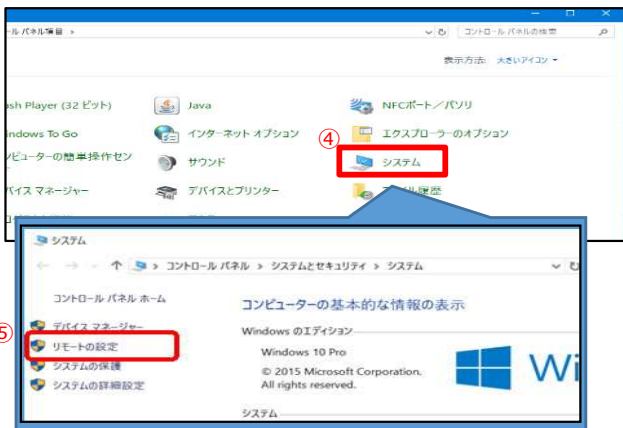
### 1 リモートデスクトップの許可設定

設定を行う管理者アカウント自身ではなく、標準ユーザアカウントに対して許可設定を行いたい場合は次頁の手順を参照してください。

- ① タスクバーの“”をクリックします
- ② メニューバーの“Windowsシステムツール”を選択
- ③ “コントロールパネル”をクリックします



- ④ コントロールパネルが表示されたら、“システム”をクリックします
- ⑤ システム画面左メニューの“リモートの設定”をクリックします



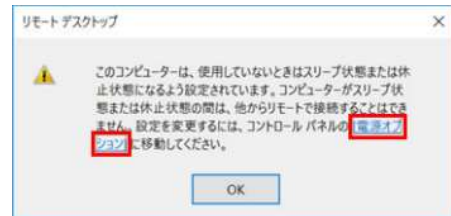
- ⑥ 『システムのプロパティ』画面が開きます。  
“このコンピューターへのリモート接続を許可する”を選択します
- ⑦ “OK”をクリックします



### 2 電源オプションの変更

前項目で最後にOKを押したときにこの通知が出た場合は文中の“電源オプション”をクリックしてください。

※下記通知が表示されなかった場合は、設定不要です。



- ① 『電源オプション』画面が開きます。  
“プラン設定の変更”をクリックします。



※電源プランが複数ある場合は、チェックマークがついている方の“プラン設定”をクリックしてください

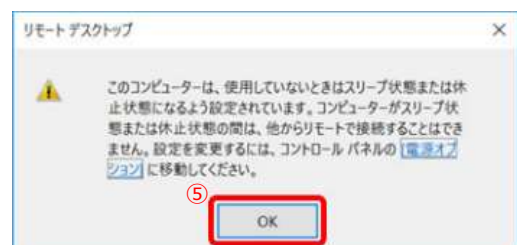
- ② 「コンピューターをスリープ状態にする」欄のプルダウンを2つとも“適応しない”を選択します
- ③ “変更の保存”をクリックします



- ④ 右上の“×”をクリックして画面を閉じてください



- ⑤ メッセージ画面に戻りますので、“OK”をクリックしてください。




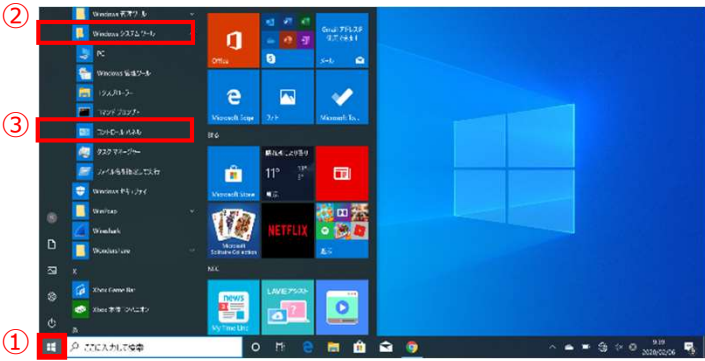
以上で端末設定は完了です

# 2.リモートデスクトップされる端末の設定 Windows10編

## 【参考】標準ユーザアカウントへのリモートデスクトップ許可方法

リモートデスクトップ許可設定を行いたいアカウントが「標準ユーザ」の場合は、  
管理者アカウントでログインし、本頁の手順でリモートデスクトップ許可設定を行います。  
リモートデスクトップ許可設定を行いたいアカウントが「管理者」の場合は、前頁1の手順で実施してください。

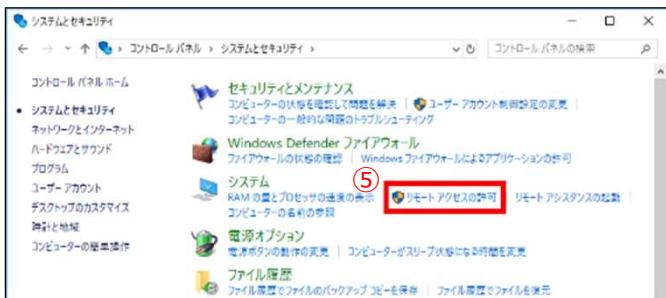
- ① タスクバーの「」をクリックします。
- ② メニューバーの「Windowsシステムツール」を選択します。
- ③ 「コントロールパネル」をクリックします。



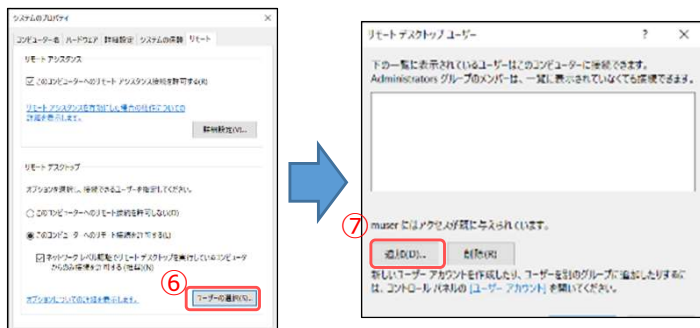
- ④ コントロールパネルが表示されたら、「システムとセキュリティ」をクリックします。



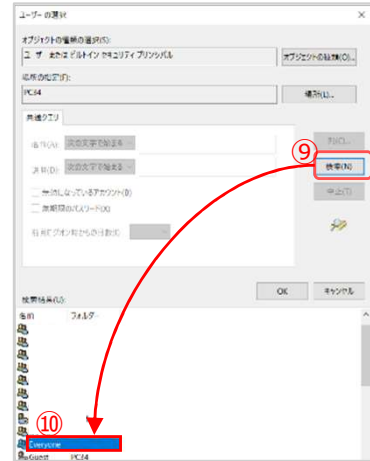
- ⑤ 「リモートアクセスの許可」をクリックします。



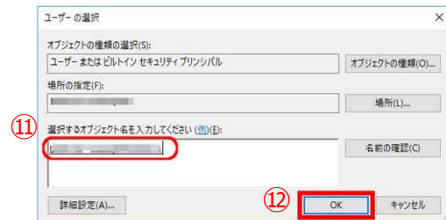
- ⑥ 「ユーザーの選択(S)...」をクリックします。
- ⑦ 「追加(D)...」をクリックします。



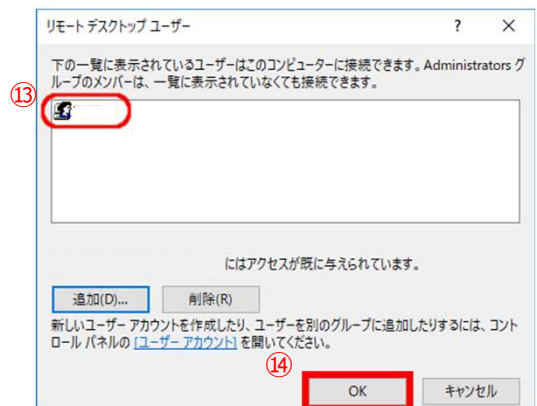
- ⑨ ユーザーの選択画面が表示されたら「検索」をクリックします。
- ⑩ 表示された検索結果から設定したいユーザーを選択します。



- ⑪ 選択したユーザーが正しいか確認します。
  - ⑫ 「OK」をクリックします。
- ※ 「選択するオブジェクト名を入力してください」の項目に直接ユーザー名を入力して選択することも可能です。ユーザー名の確認方法は本マニュアルの『ユーザー名確認方法』を参照してください。



- ⑬ 「リモートデスクトップ ユーザー」の一覧に設定が反映されているか確認します。
- ⑭ 「OK」をクリックして設定完了です。





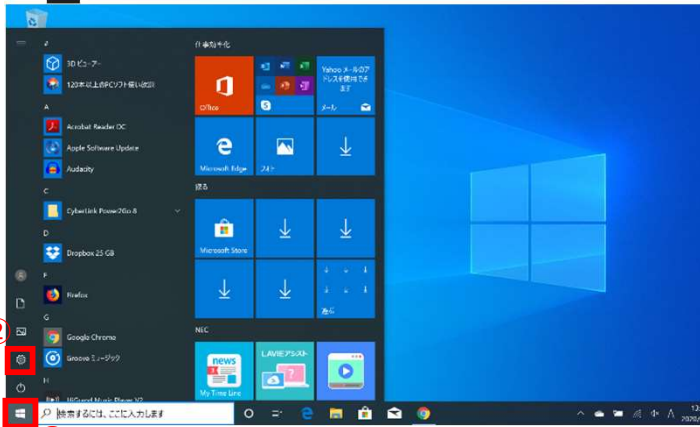
電源設定も前項の手順で忘れずに実施してください。

# 2.リモートデスクトップされる端末の設定 Windows10編

## (2) 端末のIPアドレスの固定設定 ※リモートデスクトップ接続を利用する場合のみ実施

以下の設定はAdministrator権限で実施してください


- ① タスクバーの“”をクリックします
- ② “”をクリックして設定画面を開きます



- ③ “ネットワークとインターネット”をクリックします




※有線接続の場合

- ④ “イーサネット”をクリックします
- ⑤ “接続済み”となっているネットワーク()をクリックします

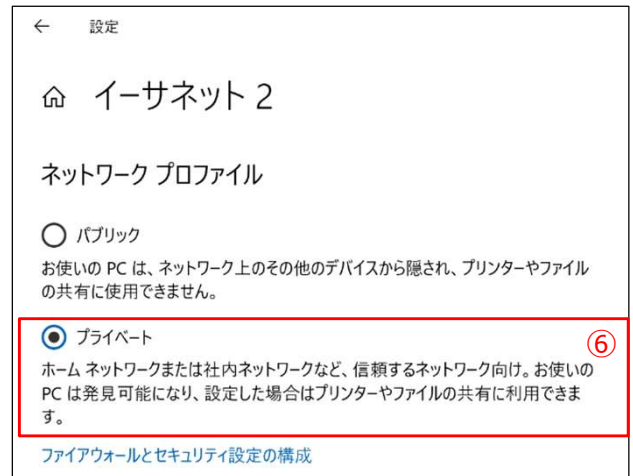


※Wi-Fiの場合

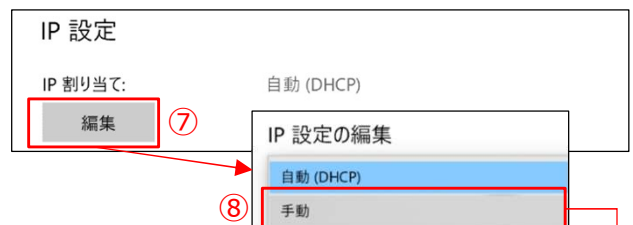
- ④ “Wi-Fi”をクリックします
- ⑤ 接続中のSSID名()をクリックします



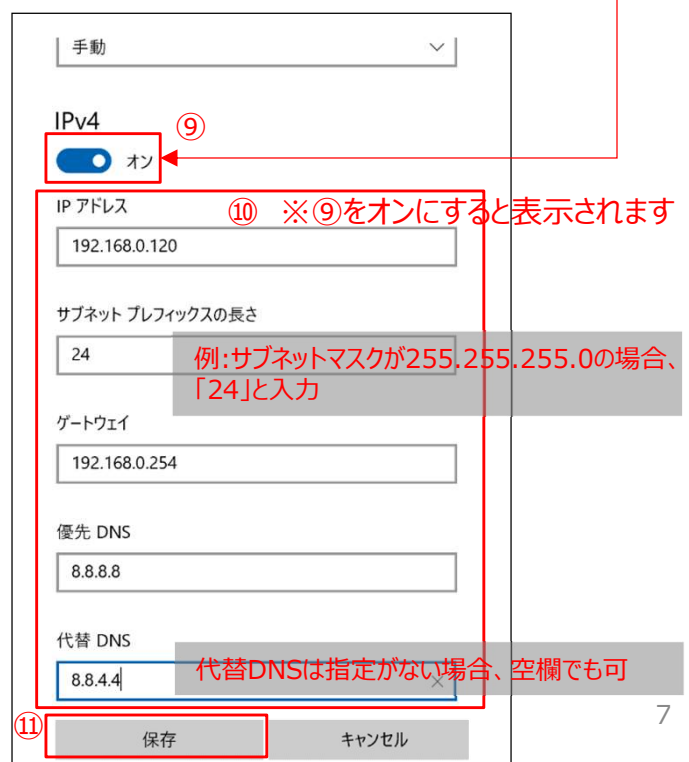
- ⑥ ネットワークプロファイルが“プライベート”に設定します
- ⑦ (下へスクロールし) IP設定の“編集”をクリックします
- ⑧ IP設定の編集が開きます。プルダウンから“手動”を選択します



下へスクロール



- ⑥ 拡張表示された画面内の“IPv4”にチェックを入れます
- ⑩ 設定する各項目を入力してください。  
※「IPアドレス」は他端末と重複しない、任意の固定アドレスを入力してください  
※その他の項目は、特に指定が無ければ現在お使いの値と同じものを入力してください
- ⑥ 保存をクリックして完了です



# 2.リモートデスクトップされる端末の設定 Windows10編

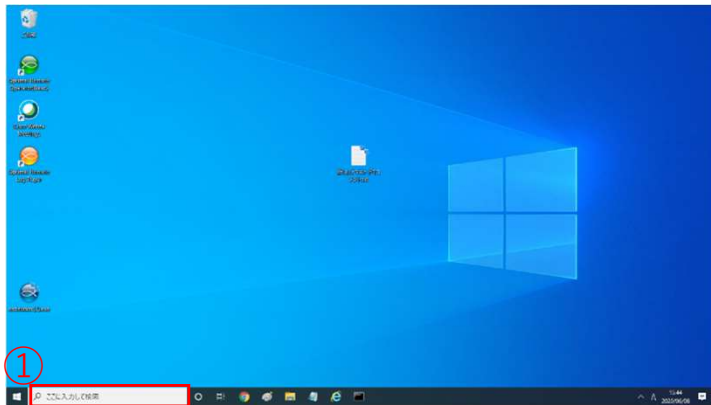
## 【参考】ログイン時のユーザー名確認方法

リモートデスクトップ接続時にいつも使っているユーザ名でログインできない場合、リモートデスクトップ接続時に使用できるユーザー名が異なっている可能性があります。事前設定時に予め確認しておくことで接続トラブルが回避できます。

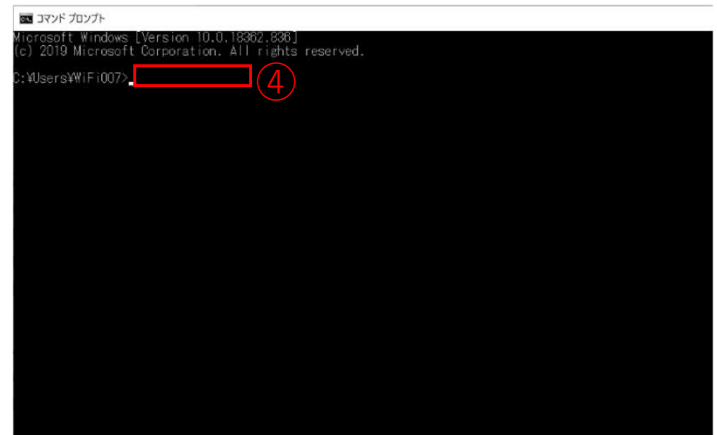


□内の太字がユーザー名です。  
ここに“**ローカルアカウント**”と表示されている場合は、リモートデスクトップ利用時のログインに使用できるユーザー名が異なる場合があります。  
この場合、以下の手順で正しいユーザー名確認します。

① タスクバーの“**検索欄**”をクリックします

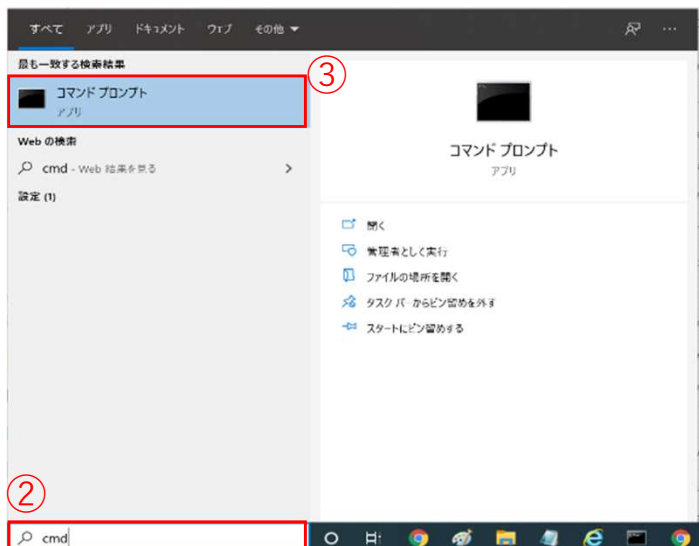


④ 画面が表示されたら“**set user**”と入力し、Enterキーを押下します

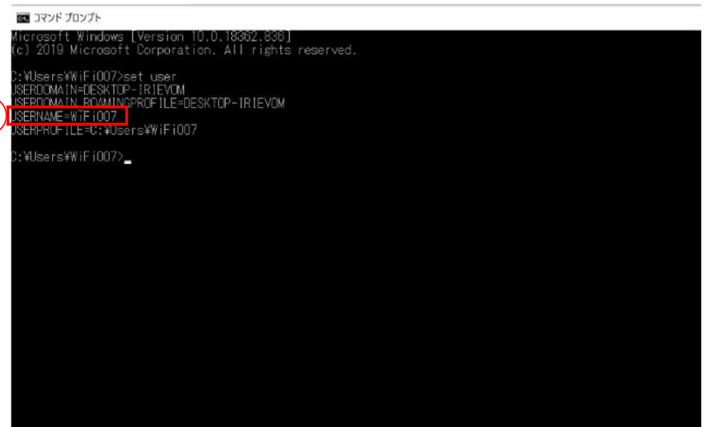


② 検索欄に“**cmd**”と入力します

③ 検索結果内に表示された、“**コマンドプロンプト**”をクリックしてください



⑤ 「**USERNAME**」の「**=**」の先に表示されているのが“**リモートデスクトップ時に使用するユーザー名**”です。




# 2.リモートデスクトップされる端末の設定 Windows11編

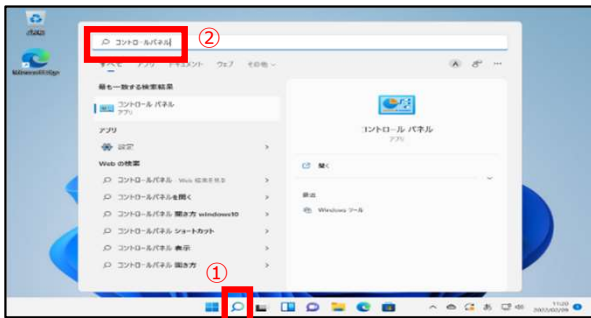
## (1) PC環境設定 ※リモートデスクトップ接続を利用する場合のみ実施

以下の設定は管理者アカウントでログイン、または管理者アカウントをお持ちの方へ依頼し設定を実施してください。

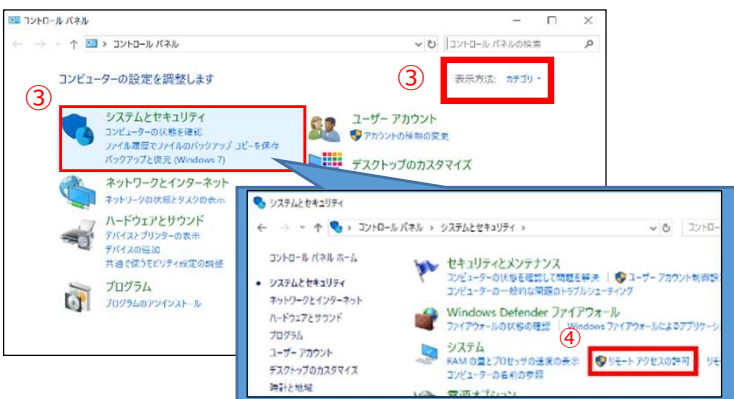
### 1 リモートデスクトップの許可設定

設定を行う管理者アカウント自身ではなく、標準ユーザアカウントに対して許可設定を行いたい場合は次頁の手順を参照してください。

- ① タスクバーの「」をクリックします
- ② 表示されたウィンドウの検索欄に、「コントロールパネル」と入力し、Enterキーを押します。



- ③ コントロールパネルが表示されたら、「システムとセキュリティ」をクリックします。下図の画面の表示になっていない場合、表示方法を「カテゴリ」に変更してください
- ④ 「リモートアクセスの許可」をクリックします。

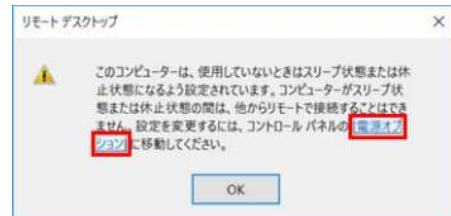


- ⑤ 『システムのプロパティ』画面が開きます。
- ⑥ “このコンピューターへのリモート接続を許可する”を選択します
- ⑦ “OK”をクリックします



### 2 電源オプションの変更

前項目で最後にOKを押したときにこの通知が出た場合は文中の“電源オプション”をクリックしてください。  
※下記通知が表示されなかった場合は、設定不要です。



- ① 『電源オプション』画面が開きます。  
“プラン設定の変更”をクリックします。



※電源プランが複数ある場合は、チェックマークがついている方の“プラン設定”をクリックしてください

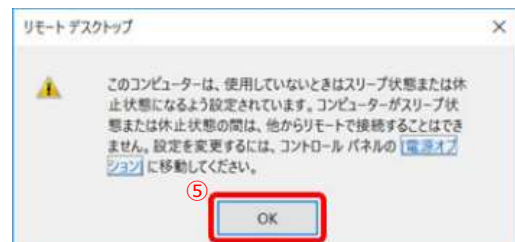
- ② 「コンピューターをスリープ状態にする」欄のプルダウンを2つとも“適応しない”を選択します
- ③ “変更の保存”をクリックします



- ④ 右上の“×”をクリックして画面を閉じてください



- ⑤ メッセージ画面に戻りますので、“OK”をクリックしてください。




以上で端末設定は完了です

# 2.リモートデスクトップされる端末の設定 Windows11編

## 【参考】標準ユーザアカウントへのリモートデスクトップ許可方法

リモートデスクトップ許可設定を行いたいアカウントが「標準ユーザ」の場合は、  
管理者アカウントでログインし、本頁の手順でリモートデスクトップ許可設定を行います。  
リモートデスクトップ許可設定を行いたいアカウントが「管理者」の場合は、前頁1の手順で実施してください。

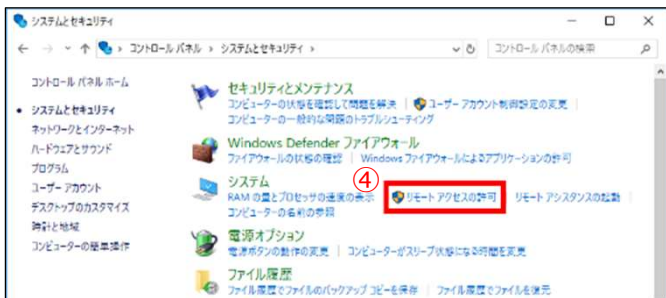
- ① タスクバーの「」をクリックします
- ② 表示されたウィンドウの検索欄に、「コントロールパネル」と入力し、Enterキーを押します。



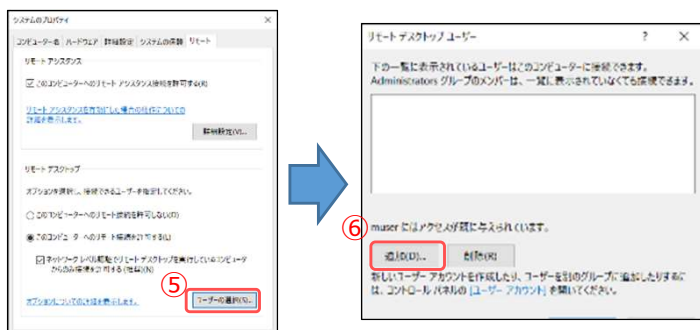
- ③ コントロールパネルが表示されたら、「システムとセキュリティ」をクリックします。下図の画面の表示になっていない場合、表示方法を「カテゴリ」に変更してください



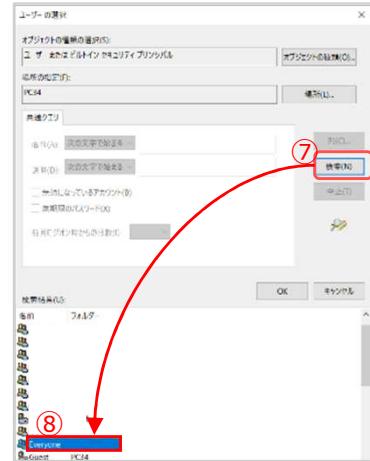
- ④ “リモートアクセスの許可”をクリックします。



- ⑤ “ユーザーの選択(S)...”をクリックします。
- ⑥ “追加(D)...”をクリックします。

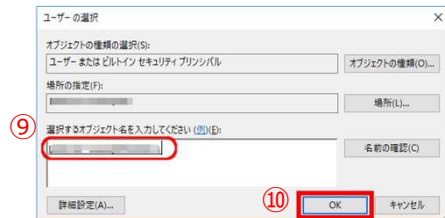


- ⑦ ユーザーの選択画面が表示されたら“検索”をクリックします。
- ⑧ 表示された検索結果から設定したいユーザーを選択します。

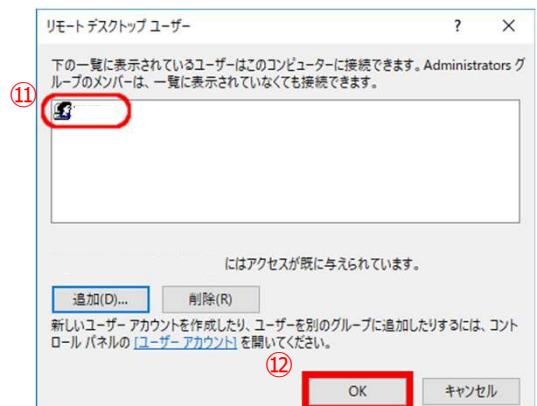


- ⑨ 選択したユーザーが正しいか確認します。
- ⑩ “OK”をクリックします。

※ “選択するオブジェクト名を入力してください”の項目に直接ユーザー名を入力して選択することも可能です。ユーザー名の確認方法は本マニュアルの『ユーザー名確認方法』を参照してください。



- ⑪ “リモートデスクトップ ユーザー”の一覧に設定が反映されているか確認します。
- ⑫ “OK”をクリックして設定完了です。



電源設定も前項の手順で忘れずに実施してください。

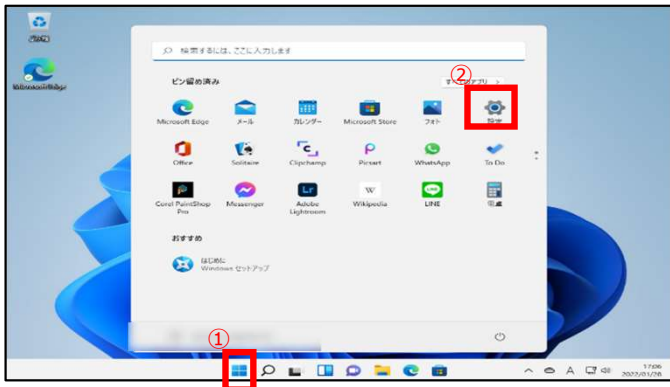
# 2.リモートデスクトップされる端末の設定 Windows11編

## (2) 端末のIPアドレスの固定設定 ※リモートデスクトップ接続を利用する場合のみ実施

本手順は有線接続を利用している端末のIPアドレスを固定する手順です。  
Wi-Fiを利用している端末のIPアドレスを固定する手順は本マニュアルの12ページを参照してください。

以下の設定はAdministrator権限で実施してください

- ① タスクバーの“”をクリックします
- ② “設定”をクリックします



- ③ “ネットワークとインターネット”をクリックします
- ④ “イーサネット”をクリックします



- ⑤ “ネットワークプロファイルの種類”をパブリックからプライベートへ変更します
- ⑥ IP設定の“編集”をクリックします



- ⑦ IP設定の編集が開きます。プルダウンから“手動”を選択します
- ⑧ “IPv4”を“オン”にします
- ⑨ 設定する各項目を入力してください。

※「IPアドレス」は他端末と重複しない、任意の固定アドレスを入力してください

※その他の項目は、特に指定が無ければ現在お使いの値と同じものを入力してください

- ⑩ 保存をクリックして完了です



下へスクロール



以上で端末設定は完了です

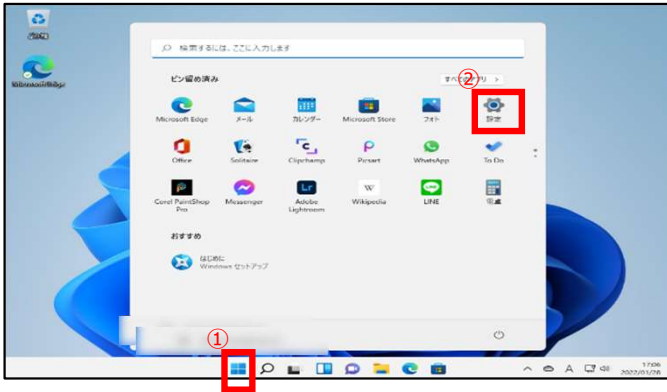
# 2.リモートデスクトップされる端末の設定 Windows11編

## (2) 端末のIPアドレスの固定設定 ※リモートデスクトップ接続を利用する場合のみ実施

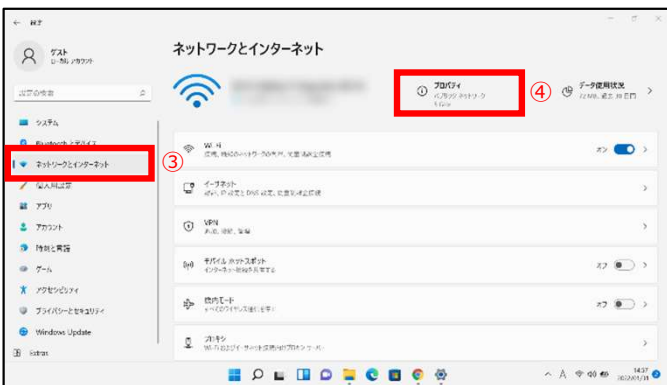
本手順はWi-Fiを利用している端末のIPアドレスを固定する手順です。  
有線接続を利用している端末のIPアドレスを固定する手順は本マニュアルの11ページを参照してください。

以下の設定はAdministrator権限で実施してください

- ① タスクバーの“”をクリックします
- ② “設定”をクリックします



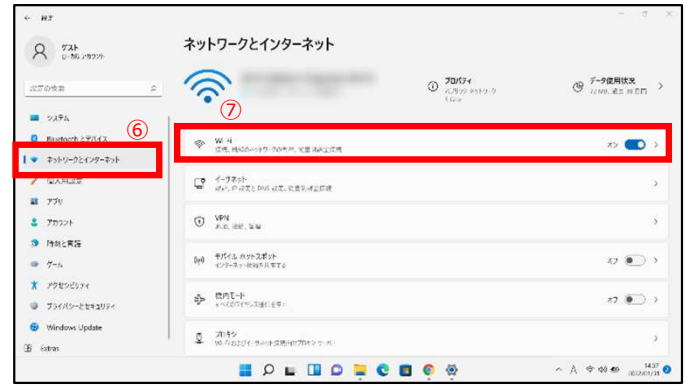
- ③ “ネットワークとインターネット”をクリックします
- ④ プロパティをクリックします



- ⑤ “ネットワークプロファイルの種類”をパブリックからプライベートへ変更します



- ⑥ “ネットワークとインターネット”をクリックします
- ⑦ “Wi-Fi”をクリックします



- ⑧ 接続しているSSID名の“プロパティ”をクリックします



- ⑨ 下へスクロールしてIP設定の“編集”をクリックします

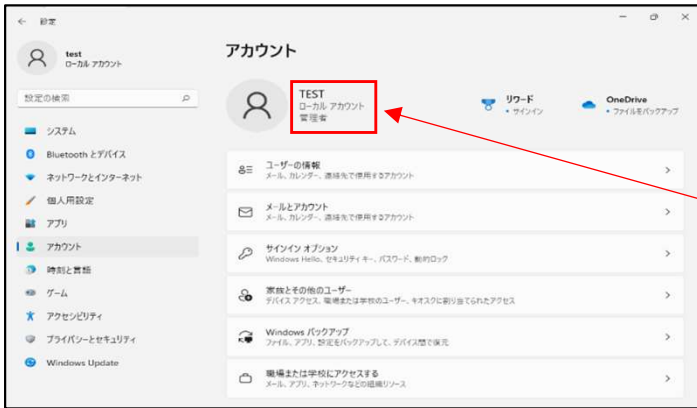


以降の手順は11ページの⑦～⑩と同様の手順です

# 2.リモートデスクトップされる端末の設定 Windows11編

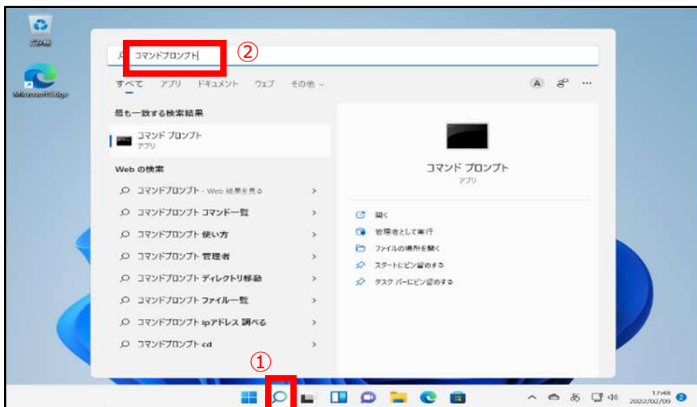
## 【参考】ログイン時のユーザー名確認方法

リモートデスクトップ接続時にいつも使っているユーザ名でログインできない場合、リモートデスクトップ接続時に使用できるユーザー名が異なっている可能性があります。事前設定時に予め確認しておくことで接続トラブルが回避できます。

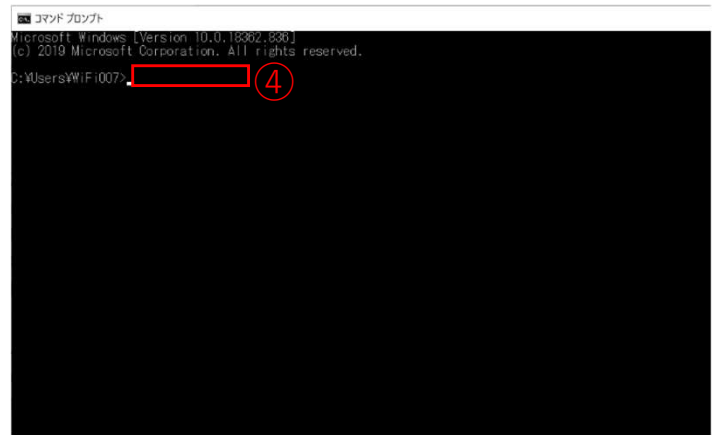


□内の太字がユーザー名です。  
ここに**“ローカルアカウント”**と表示されている場合は、リモートデスクトップ利用時のログインに使用できるユーザー名が異なる場合があります。  
この場合、以下の手順で正しいユーザー名確認します。

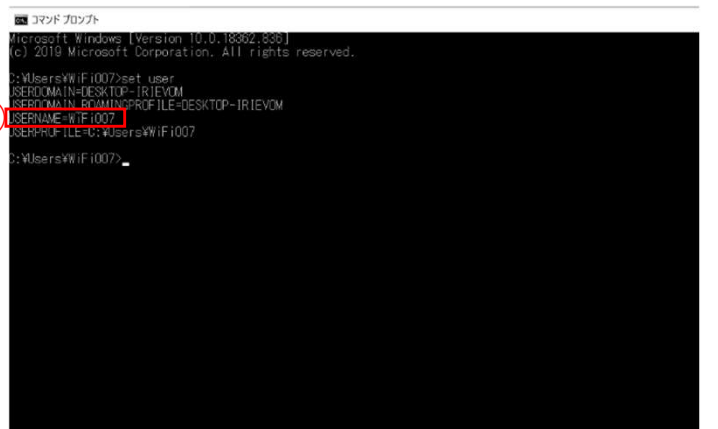
- ① タスクバーの“”をクリックします
- ② 表示されたウィンドウの検索欄に、「コマンドプロンプト」と入力し、Enterキーを押します。



- ③ 画面が表示されたら“set user”と入力し、Enterキーを押下します



- ④ 「USERNAME」の「=」の先に表示されているのが「リモートデスクトップ時に使用するユーザー名」です。



# 3.外出先に持ち出す端末への設定

## (1) Windows10端末版・事前設定 (VPN設定)

- ① デスクトップ画面からスタートメニューを立ち上げ、“設定”画面を開きます (下図参照)
- ② 設定画面から“ネットワークとインターネット”を開きます



① をクリックし、 をクリックします

- ③ 項目の中から“VPN”をクリックします
- ④ “VPN接続を追加する”をクリックします



⑤ 下記画面が表示されますので、以下の通り入力します

**VPN接続を追加**

VPN プロバイダー: **Windows (ビルトイン)** “Windows (ビルトイン)”を選択

接続名: **VPN接続** 任意で名前を設定してください

サーバー名またはアドレス: **remote-** ギガらくルーターType-Cのタッチボードで確認した「ホスト名」を入力

VPNの種類: **自動** “自動”を選択

サインイン情報の種類: **ユーザー名とパスワード** “ユーザー名とパスワード”を選択

ユーザー名 (オプション): **メールアドレス形式**

パスワード (オプション): **12345678** ギガらくルーターType-Cの設定申込書で申請したアカウントIDとパスワードを入力

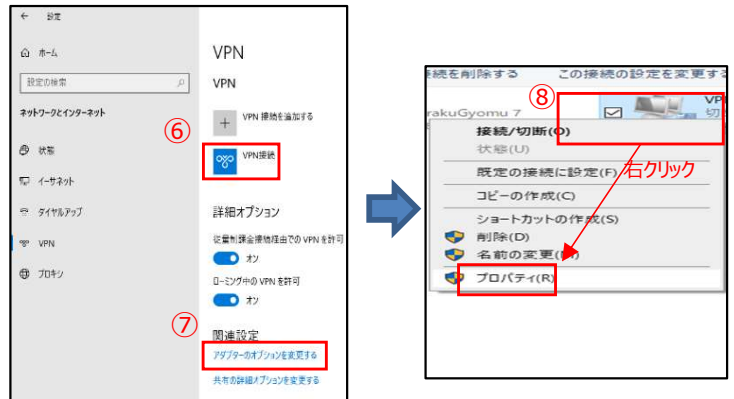
サインイン情報を保存する

**保存** **キャンセル**

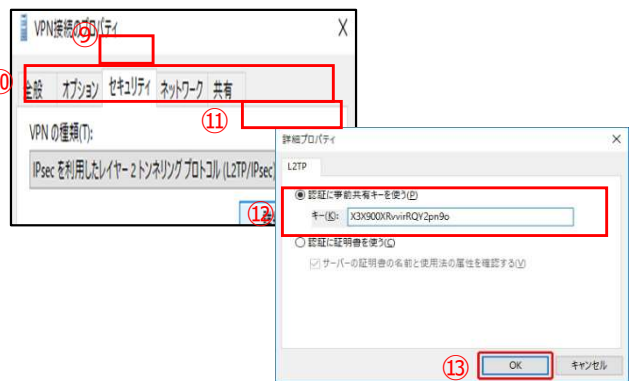
<任意>  
本項目にチェックを入れると、次回VPN接続時のアカウントID・パスワードの入力を省略できます

**入力完了したら“保存”をクリックし終了します**

- ⑥ 作成したVPN接続先が追加されたことを確認します。
- ⑦ “アダプターのオプションを変更する”をクリックします
- ⑧ 作成済みVPN接続アイコンを右クリックをし、“プロパティ”をクリックします



- ⑨ 「セキュリティ」を選択します
- ⑩ “IPsecを利用したレイヤー-2 トンネリングプロトコル (L2TP/IPsec)”を選択します
- ⑪ “詳細設定”をクリックします。
- ⑫ “認証に事前共有キーを使う”を選択し、「キー」の入力ボックスにギガらくルーターType-C設定申込書にて申請した「シークレットキー」を入力してください。
- ⑬ “OK”をクリックし、詳細プロパティ画面を閉じます。



- ⑭ VPN接続のプロパティ画面に戻りますので、“データの暗号化”部分を以下のように設定します。

**VPN接続のプロパティ**

VPNの種類(T): **IPsecを利用したレイヤー-2トンネリングプロトコル (L2TP/IPsec)**

データの暗号化(D): **暗号化が必要 (サーバーが拒否する場合は切断します)** “暗号化が必要 (サーバーが拒否する場合は切断します)”を選択

認証:  拡張認証プロトコル (EAP) を使う(E)

次のプロトコルを許可する(P) “次のプロトコルを許可する”にチェック

暗号化されていないパスワード (PAP)(U)

チャレンジハンドシェイク認証プロトコル (CHAP)(H)

Microsoft CHAP Version 2 (MS-CHAP v2)

Windows のログオン名とパスワード (およびドメインがある場合はドメイン) を自動的に使う(A)

**OK** **キャンセル**

**暗号化されていないパスワード”を選択**

**入力終了したら“OK”をクリックし終了**

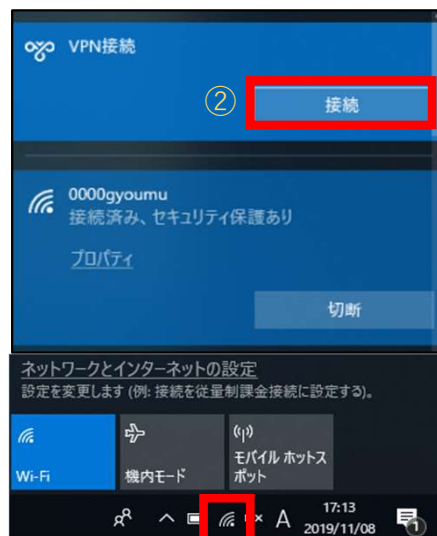
以上でVPN接続の事前設定は終了です。

# 3.外出先に持ち出す端末への設定

## (1) Windows10端末版・接続手順 (①VPN接続)

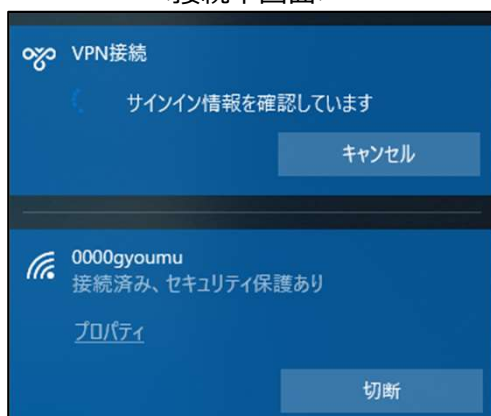
ギガらくルーターType-Cの上部に別ルータを設置・接続して利用する場合は、外出先に持ち出す端末のレジストリ設定が必要です (Windows端末のみ)  
上記に該当する場合は、本設定を実施する前に「レジストリ設定変更参考資料」を参照いただき、レジストリ設定を実施してからVPN接続を行ってください。

- ① デスクトップに表示されているタスクバーの「ネットワーク状態」アイコンをクリックして一覧を開きます
- ② 作成したVPN接続先の“接続”をクリックします



- ③ 接続に成功すると、VPN接続名の下に“接続済み”と表示されます

<接続中画面>



<接続成功画面>




以上で設定は終了です。  
接続に失敗する場合はP20の「VPN接続できないときの主な対処法」を参照し、設定の見直しをお願いします。

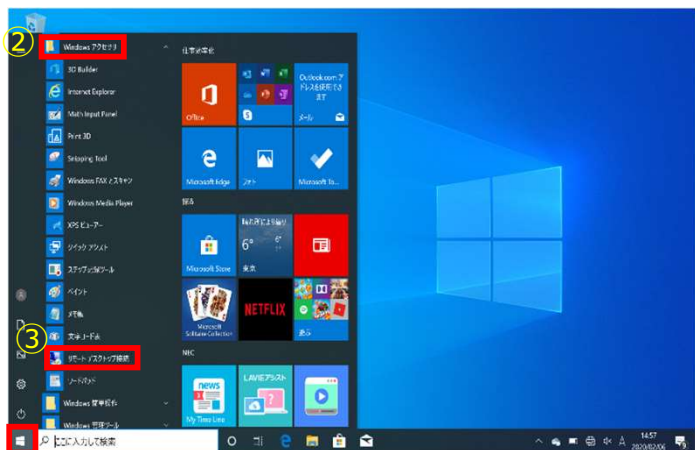
# 3.外出先に持ち出す端末への設定

## (1) Windows10端末版・接続手順 (2)リモートデスクトップ接続

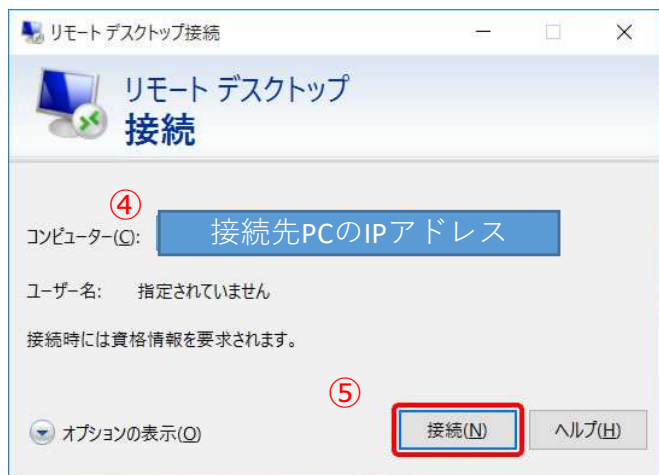
リモートデスクトップ接続を利用する方の手順です。

社内LAN接続方式を利用する場合は本頁の設定はせず、次頁の設定を実施してください。

- ① 画面左下の“”マークをクリックします。
- ② “Windowsアクセサリ”を開きます。
- ③ “リモートデスクトップ接続”をクリックします。



- ④ “コンピューター”欄にリモートデスクトップ接続先PCの接続先のIPアドレスを入力します。  
※確認方法は事前準備編 3 - (2) を参照
- ⑤ “接続” をクリックします。



- ⑥ 接続に成功すると『Windows セキュリティ』画面が表示されますので、接続先PCのログインする際に使用する“ユーザー名”と“パスワード”を入力します。
- ⑦ “OK” をクリックします。



接続先PCのデスクトップが表示されたら接続成功です  
下記のメッセージ画面が出た場合は、「はい」をクリックして閉じてください。



以上で設定は終了です。

※ログインできない場合、ログインに使用するユーザー名が異なる場合があります。接続先端末がWindows10の場合P8、Windows11の場合P13の手順も併せてご確認ください

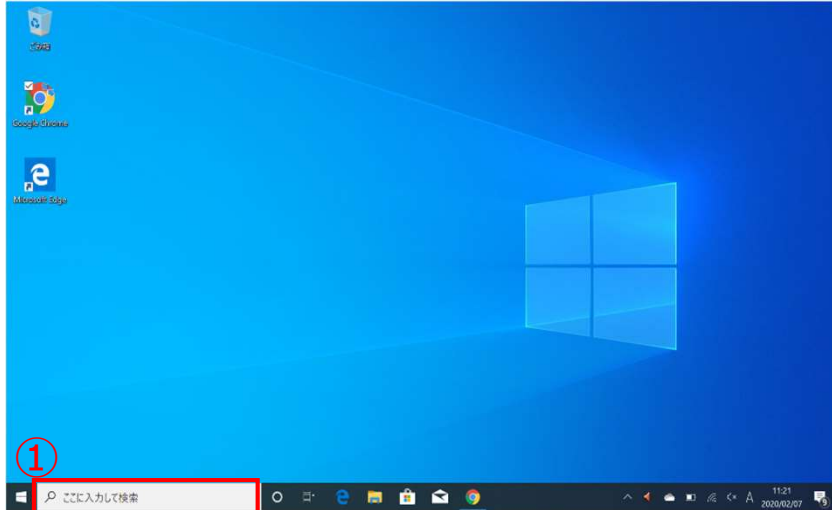
# 3.外出先に持ち出す端末への設定

## (1) Windows10端末版・接続手順 (③社内LAN接続)

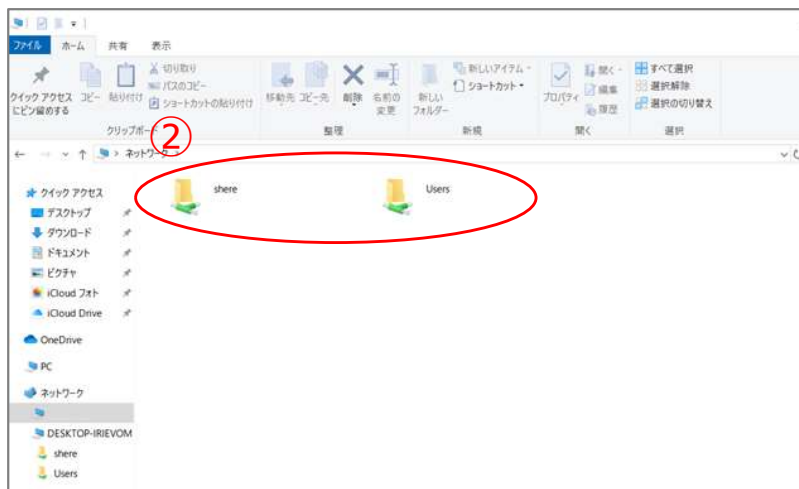
社内LAN接続方式を利用する方の手順です。

リモートデスクトップ接続を利用する場合は本頁の設定はせず、前頁の設定を実施してください。

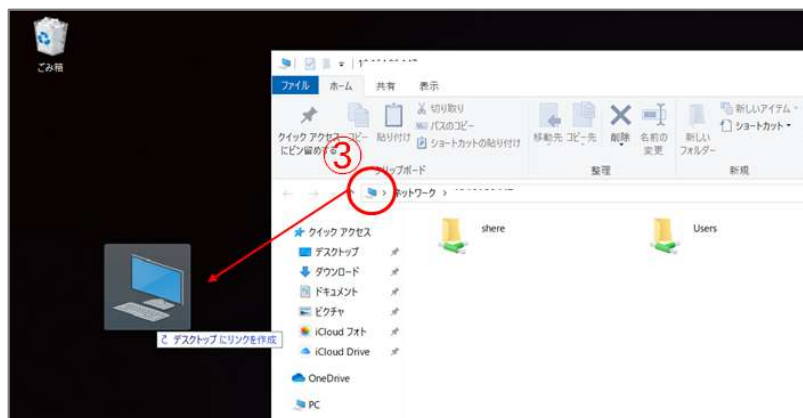
- ① タスクバーの検索欄に、「¥¥接続したいサーバ・端末のIPアドレス」を入力し、実行します  
(例) ¥¥192.168.1.1



- ② 入力した接続先が表示されますので、閲覧できるか確認します。接続できたら設定は終了です。



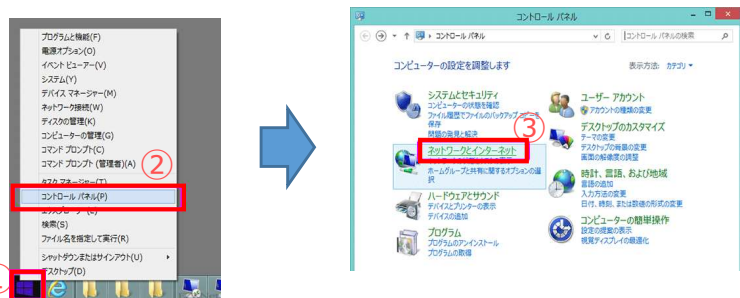
【参考】 ○の部分デスクトップにドラッグするとショートカットが作成でき、次回以降のアクセスが簡単になります。



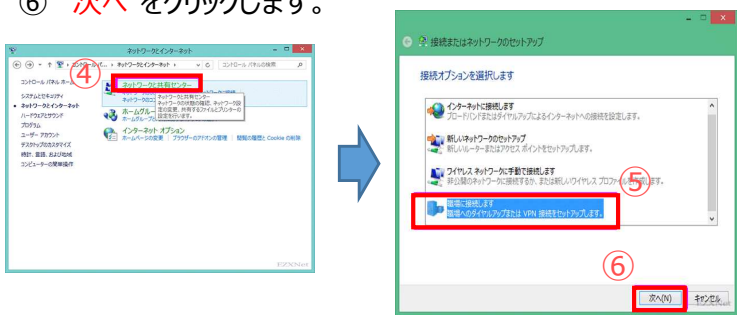
# 3.外出先に持ち出す端末への設定

## 【参考】Windows8.1端末版・事前設定 (VPN設定)

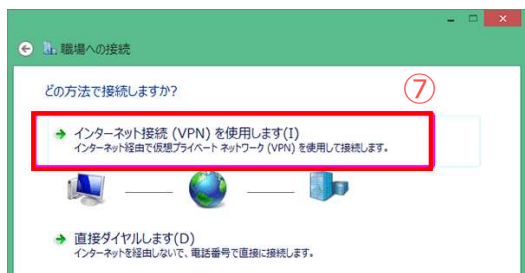
- ① デスクトップ左下の“Windowsアイコン”を右クリックします。
- ② “コントロールパネル”をクリックします。
- ③ “ネットワークとインターネット”をクリックします。



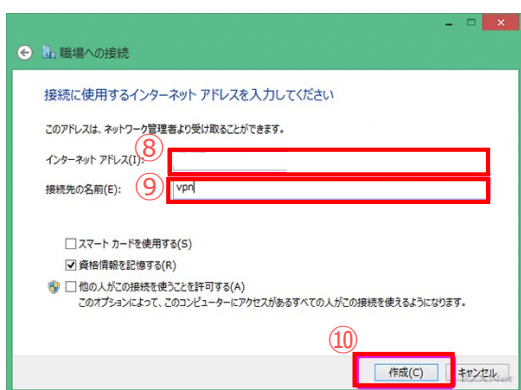
- ④ “ネットワークと共有センター”をクリックします。
- ⑤ “職場に接続します”を選択します。
- ⑥ “次へ”をクリックします。



- ⑦ “インターネット接続 (VPN) を使用します”を選択します。



- ⑧ “インターネットアドレス”にギガらくルーターType-Cのダッシュボードで確認した“ホスト名”を入力します。
- ⑨ “接続先の名前”に任意の名前を入力します。
- ⑩ “作成”をクリックします。  
クリック後に接続先が「ネットワーク」に表示されます。



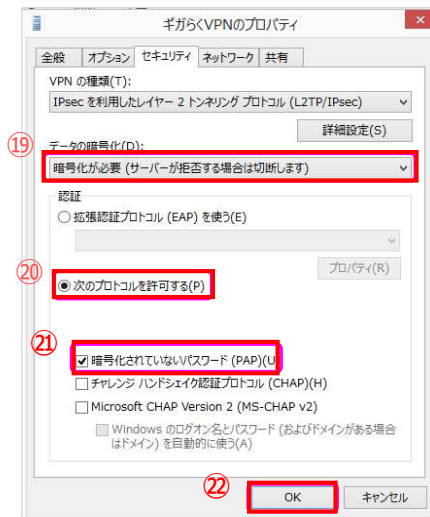
- ⑪ 「ネットワークと共有センター」のページに戻り、画面左にある“アダプターの設定変更”をクリックします。
- ⑫ 追加したアイコンを右クリックし、“プロパティ”を選択します。



- ⑬ 「セキュリティ」を選択します。
- ⑭ VPNの種類項目を“IPsecを利用したレイヤー2 トンネリング プロトコル(L2TP/IPsec)”を選択します。
- ⑮ “詳細設定”をクリックします。
- ⑯ “認証に事前共有キーを使う”にチェックを入れます。
- ⑰ 「キー」の欄にギガらくルーターType-C設定申込書にて申請した“シークレットキー”を入力します。
- ⑱ “OK”をクリックしてください。



- ⑲ 「データの暗号化」の項目を“暗号化が必要(サーバーが拒否する場合は切断します)”に変更します。
- ⑳ “次のプロトコルを許可する”にチェックを入れます。
- ㉑ “暗号化されていないパスワード(PAP)”のみにチェックをいれます。
- ㉒ “OK”をクリックします。



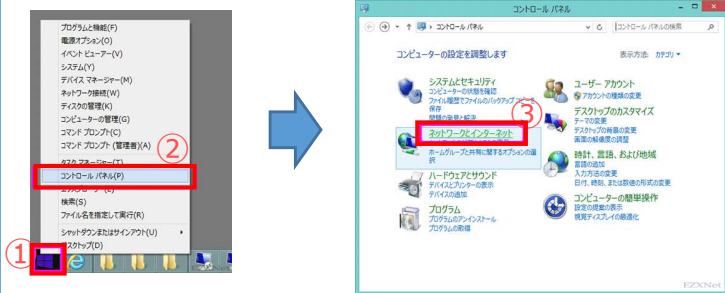
以上で設定は完了です。

# 3.外出先に持ち出す端末への設定

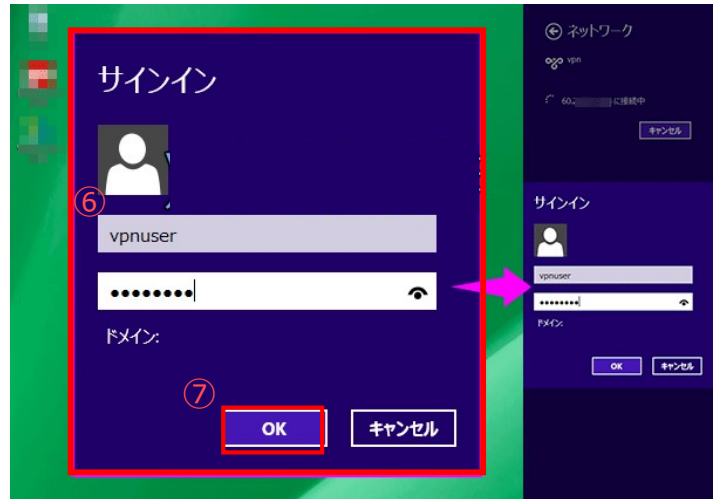
## 【参考】Windows8.1端末版・接続手順（VPN接続）

ギガらくルーターType-Cの上部に別ルータを設置・接続して利用する場合は、外出先に持ち出す端末のレジストリ設定が必要です（Windows端末のみ）  
上記に該当する場合は、本設定を実施する前に「レジストリ設定変更参考資料」を参照いただき、レジストリ設定を実施してからVPN接続を行ってください。

- ① デスクトップ左下の“Windowsアイコン”を右クリックします。
- ② “コントロールパネル”をクリックします。
- ③ コントロールパネルの“ネットワークとインターネット”をクリックします。



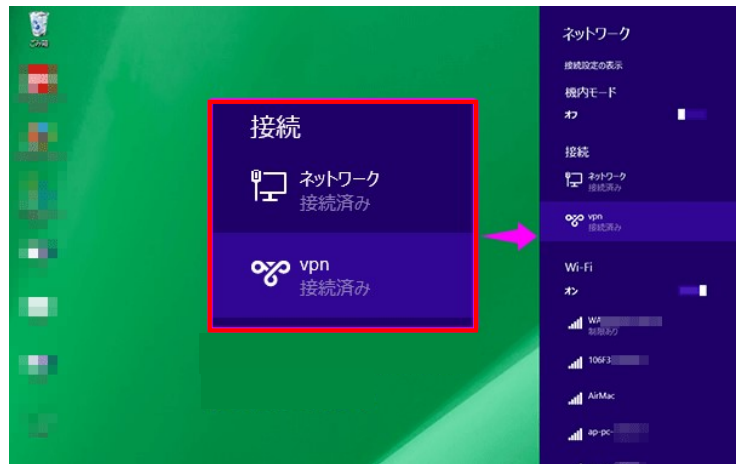
- ⑥ “ユーザー名”と“パスワード”を入力します。
- ⑦ “OK”をクリックします。



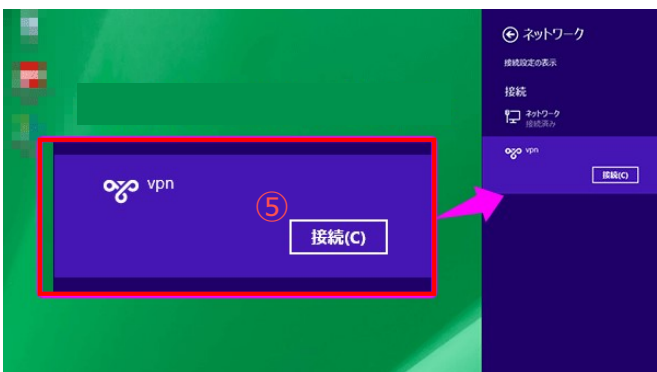
- ④ 作成したVPN接続先をクリックして“この接続を開始する”を選択します。



- ⑧ VPN接続に成功するとチャームにあるVPNの項目に“接続済み”と表示されます。



- ⑤ チャームにVPN接続が表示されます。“接続”をクリックします。



以上で接続完了です。

### 3.外出先に持ち出す端末への設定

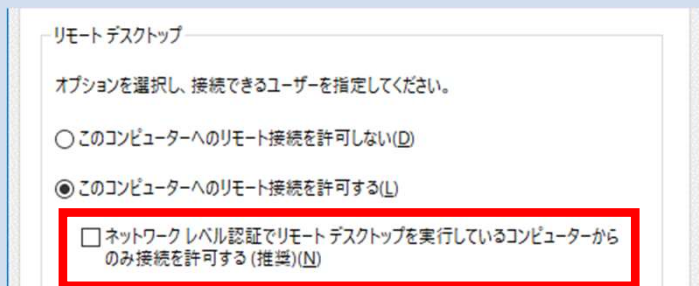
#### 【参考】VPN接続できないときの主な対処法（Windows10版）

エラーメッセージ	考えられる原因	対処法
リモートアクセスサーバの名前を解決できなかったため、リモート接続は行われませんでした。	ホスト名（DNSネーム）の設定を誤っている	p14の、設定⑤“サーバ名またはアドレス”の項目に誤りが無いか確認してください。
指定したユーザ名またはパスワードが認識されないか、選択した認証プロトコルがリモートアクセスサーバで許可されていない為、リモート接続が拒否されました。	ユーザー名、パスワードの設定を誤っている	p14の設定⑤“ユーザー名”または“パスワード”の項目に誤りが無いか確認してください。
	認証プロトコルが正しく選択されていない	p14の設定⑭「データ暗号化」の設定項目の“次のプロトコルを許可する(P)”にチェックが入っている、かつ“暗号化されていないパスワード(PAP)(U)”のみにチェックが入力されているかを確認してください。
リモートコンピュータと事前にネゴシエートするときに、セキュリティ層で処理エラーが検出されたため、L2TP接続に失敗しました。	事前共有キーの設定を誤っている	p14の設定⑯“認証に事前共有キーを使う”の項目に入力されている“シークレットキー”誤りが無いか確認してください。
	ポートフォワーディングの設定を実施していない/誤っている ※ギガらくルーターType-C装置の上部にルータを設置している場合	ギガらくルーターType-C装置の上位にルータがある場合、UDP/500・4500のポート開放が必要です。 この設定が正しく設定が行われているか、対象のルータの設定を確認してください。
	ポートフォワーディング設定の宛先IPアドレス値の設定を誤っている  ※ギガらくルーターType-C装置の上部にルータを設置している場合	ポートフォワーディング設定時の転送先のIPアドレスにギガらくルーターType-C装置のWAN側IPアドレスが正しく入力されているか確認してください。 また、ギガらくルーターType-C装置のWAN側アドレスがDHCPなどで動的になっていると、一定時間経過後に通信出来なくなるため、固定設定を行ってください。
	レジストリ設定変更を実施していない/誤っている ※ギガらくルーターType-C装置の上部にルータを設置している場合	外出先で使用するPCにレジストリを変更が必要です。 『レジストリ設定参考資料』を参照いただき、設定を行ってください。 すでに実施している場合は、設定誤りがないか確認してください。 また、設定後は再起動を忘れずに実施してください。
	同じ回線やネットワークでの折り返し通信になっているためエラーが発生している。	会社内で設定している場合に発生します。 ギガらくルーターType-C装置を接続している回線とは別の回線から接続を試してみてください。 (モバイル回線などのテザリングなど、全く別の回線でお試ください)

### 3.外出先に持ち出す端末への設定

#### 【参考】リモートデスクトップアプリの接続ができないときの主な対処法

事象（エラーメッセージ）	考えられる原因	対処法
リモートデスクトップはリモートコンピュータに接続できません。	接続先IPアドレスの入力が間違っている	入力した接続先 I P アドレスが、会社側のリモートデスクトップされる側の P C に設定した I P アドレスと同じか再度確認してください。 また、会社側のリモートデスクトップされる側の P C に設定した I P アドレスが間違っていないかも併せてご確認ください。
	リモートデスクトップ許可設定がされていない	P5の「リモートデスクトップ許可設定」がされているか、再度確認ください。
	リモートデスクトップされる側の P C の電源が O F F になっている / スリープ状態になっている	リモートデスクトップを行うには、リモートデスクトップされる側の P C の電源が O N になっている必要があります。 電源が O F F になっていないか、スリープになっていないかご確認ください。 なお、スリープ解除方法はp5を参照してください。
	ネットワークプロファイルが「プライベート」となっていない	ネットワークプロファイルの設定がプライベート以外になっていないか確認します。※この場合、リモートデスクトップできません P7の①～⑥の手順で、ネットワークプロファイルの設定を確認および必要に応じて設定変更してください。
お使いの資格情報は機能しませんでした (ユーザー名またはパスワードが違うため接続できない)	ユーザー名が間違っている	①アカウント名に間違いが無いか再度確認してください (使用するアカウントはリモートデスクトップされる側の端末 = 会社側のもののため注意) ②お使いのアカウントがローカルアカウントでないか確認します。 p8の手順に従い、正しいユーザー名を確認し、再度入力してください。
	パスワードが間違っている	①パスワードに間違いが無いか再度確認してください (使用するパスワードはリモートデスクトップされる側の端末 = 会社側のもののため注意) ②リモートデスクトップされる側の端末のパスワードが、PINコード入力となっていないか確認します。 この場合、パスワード入力に設定を変更してください
認証エラーが発生しました。 要求された関数はサポートされていません。  リモートコンピュータ：（コンピュータ名） 原因はCredSSP暗号化オラクルの修復である可能性があります。	リモートデスクトップされる側の端末と外出先の端末で利用しているリモートデスクトップ接続に利用する認証プロバイダ（CredSSP）のバージョンに差が生じたために発生した可能性があります。 ※リモートデスクトップされる側端末のバージョンが古いことが多い	双方の端末のWindows O S を最新版にアップデートし、再度接続を試みてください。  Windows O S を最新版にアップデートできない場合、以下の方法により解決する場合があります。 ※セキュリティの脆弱性が生まれる可能性があるため、設定は自己判断でお願いします  P5・⑥⑦の手順に加え、「オプション」をクリックし「ネットワークレベル認証でリモートデスクトップを実行しているコンピュータからのみ接続を許可する」のチェックを外します。

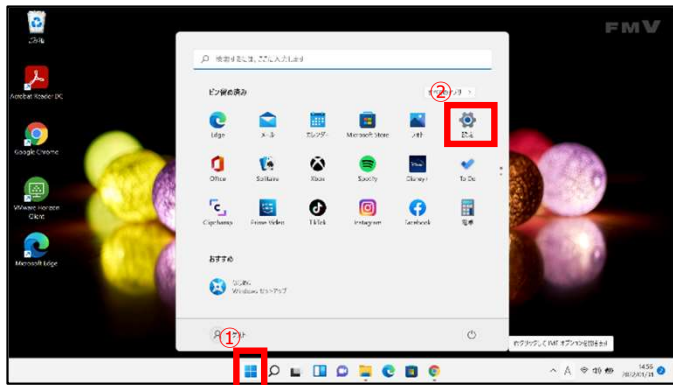


# 3.外出先に持ち出す端末への設定

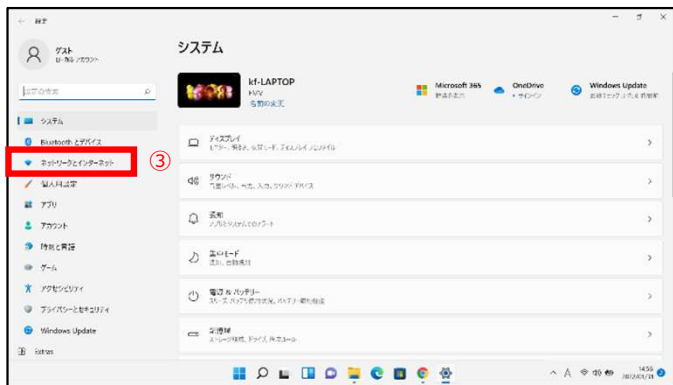
## (1) Windows11端末版・事前設定 (VPN設定)

① タスクバーの“”をクリックします

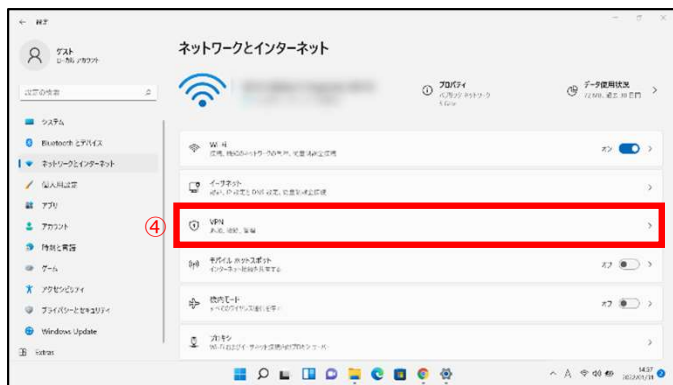
② “設定”を選択します



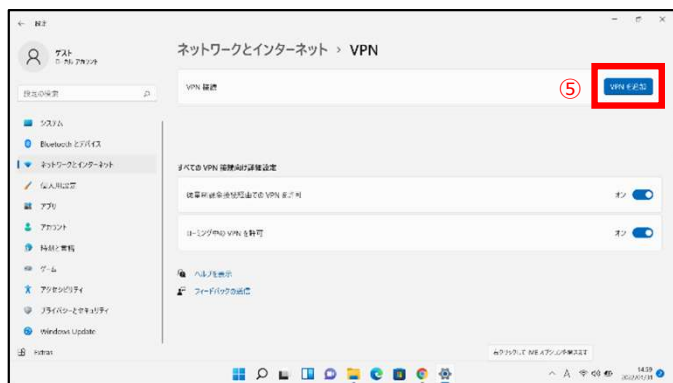
③ “ネットワークとインターネット”をクリックします



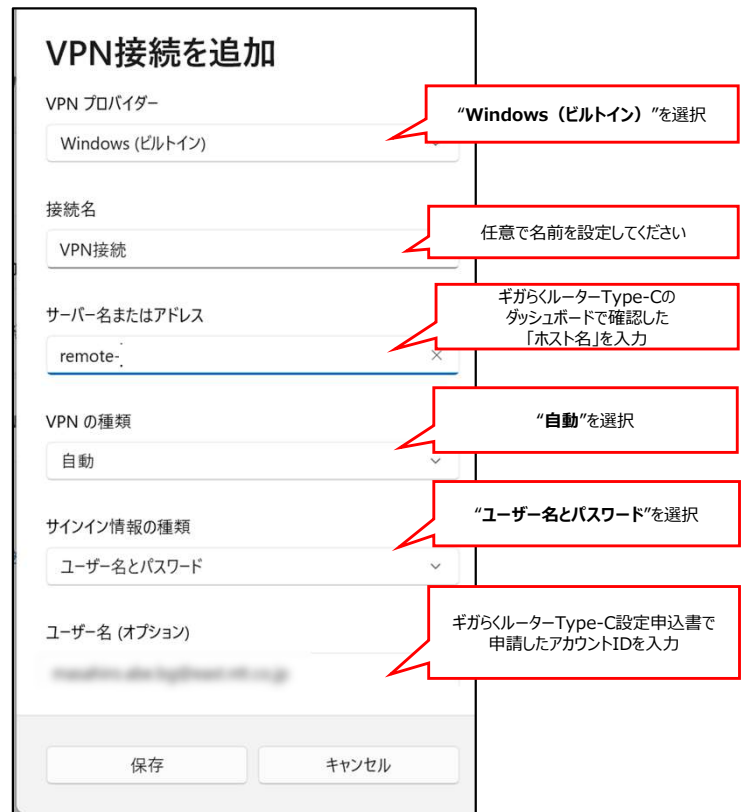
④ “VPN”をクリックします



⑤ “VPNを追加”をクリックします



⑥ 下記画面が表示されますので、以下の通り入力します



**VPN接続を追加**

VPN プロバイダー: Windows (ビルトイン) “Windows (ビルトイン)”を選択

接続名: VPN接続 任意で名前を設定してください

サーバー名またはアドレス: remote- ギガらくルーターType-Cのタッチボードで確認した「ホスト名」を入力

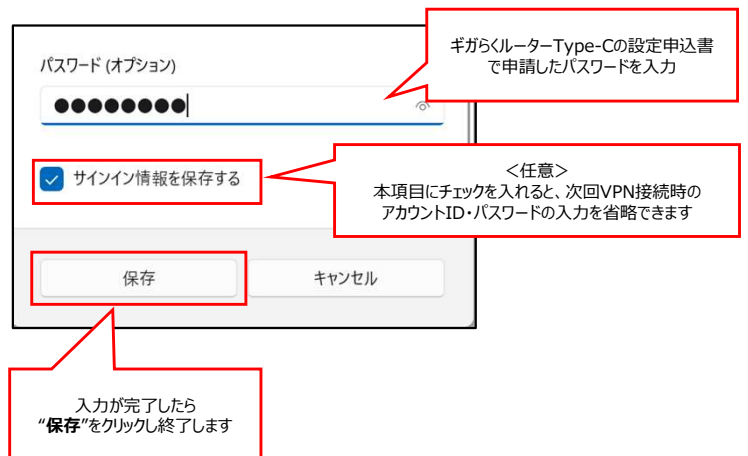
VPNの種類: 自動 “自動”を選択

サインイン情報の種類: ユーザー名とパスワード “ユーザー名とパスワード”を選択

ユーザー名 (オプション): ギガらくルーターType-C設定申込書で申請したアカウントIDを入力

保存 キャンセル

下へスクロール



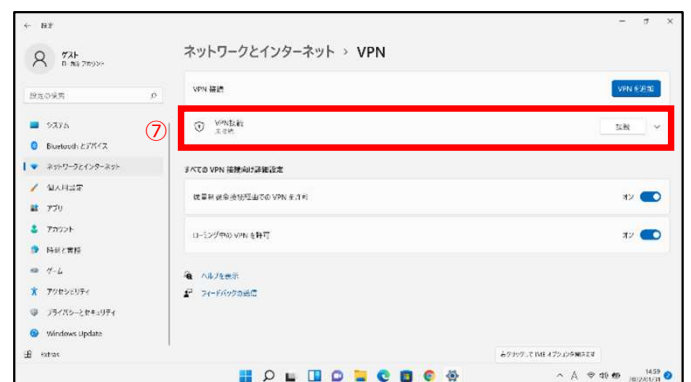
パスワード (オプション): ギガらくルーターType-Cの設定申込書で申請したパスワードを入力

サインイン情報を保存する <任意> 本項目にチェックを入れると、次回VPN接続時のアカウントID・パスワードの入力を省略できます

保存 キャンセル

入力完了したら“保存”をクリック終了します

⑦ 作成したVPN接続先が追加されたことを確認します。

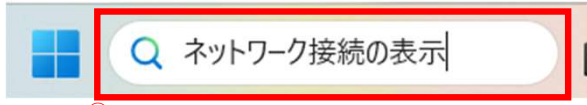


次のページへ続きます

# 3.外出先に持ち出す端末への設定

## (1) Windows11端末版・事前設定 (VPN設定)

- ⑧ タスクバーの検索ボックスで、“ネットワーク接続の表示”を検索します。



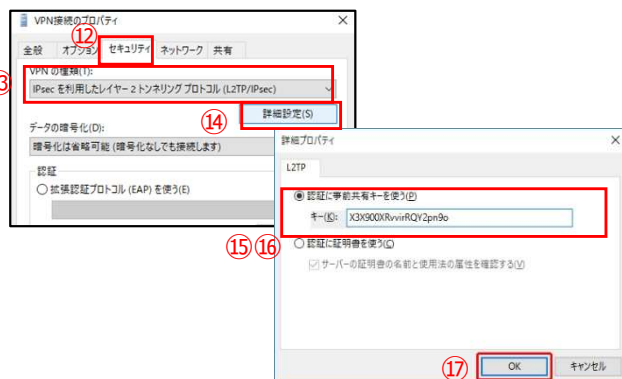
- ⑨ 最も一致する検索結果の“ネットワーク接続の表示”をクリックします。



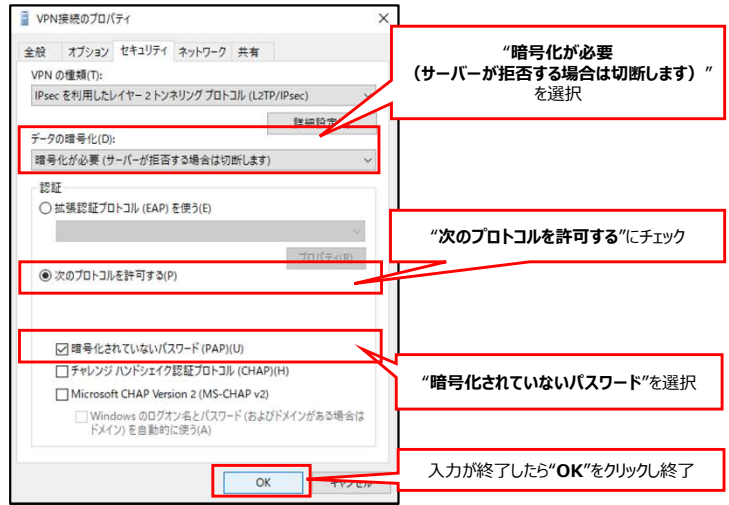
- ⑩ 作成済みVPN接続アイコンを右クリックをし、  
⑪ “プロパティ”をクリックします



- ⑫ 「セキュリティ」を選択します  
⑬ “IPsecを利用したレイヤー-2 トンネリングプロトコル (L2TP/IPsec)”を選択します  
⑭ “詳細設定”をクリックします。  
⑮ “認証に事前共有キーを使う”を選択し、  
⑯ 「キー」の入力ボックスにギガらくルーターType-C設定申込書にて申請した「シークレットキー」を入力してください。  
⑰ “OK”をクリックし、詳細プロパティ画面を閉じます。



- ⑱ VPN接続のプロパティ画面に戻りますので、“データの暗号化”部分を以下のように設定します。



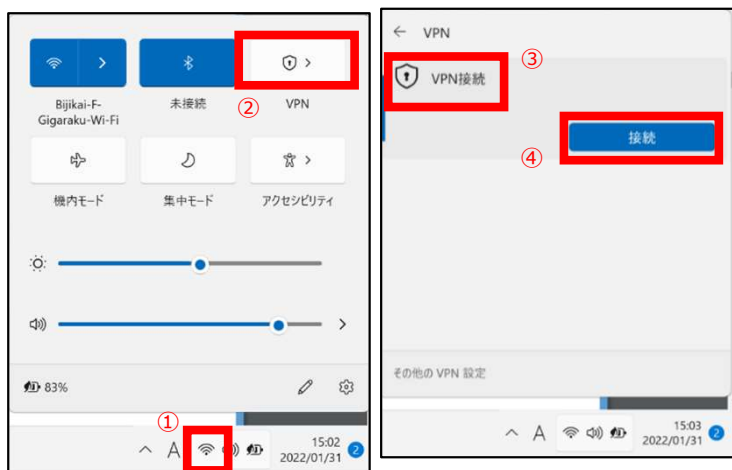
以上でVPN接続の事前設定は終了です。

# 3.外出先に持ち出す端末への設定

## (1) Windows11端末版・接続手順 (①VPN接続)

ギガらくルーターType-C装置の上部に別ルータを設置・接続して利用する場合は、外出先に持ち出す端末のレジストリ設定が必要です (Windows端末のみ)  
上記に該当する場合は、本設定を実施する前に「レジストリ設定変更参考資料」を参照いただき、レジストリ設定を実施してからVPN接続を行ってください。

- ① デスクトップに表示されているタスクバーの「ネットワーク状態」アイコンをクリックして一覧を開きます
- ② “VPN”をクリックします  
※アイコンが表示されていない場合は右記の「VPNアイコン追加手順」に従いアイコンを追加してください
- ③ 作成したVPN接続先の“名前”をクリックします(例の場合はVPN接続)
- ④ “接続”をクリックします



- ⑤ 接続に成功すると、VPN接続名の下に“接続済み”と表示されます

<接続中画面>



<接続成功画面>



以上で設定は終了です。  
接続に失敗する場合はp20の「VPN接続できないときの主な対処法」を参照し、設定の見直しをお願いします。

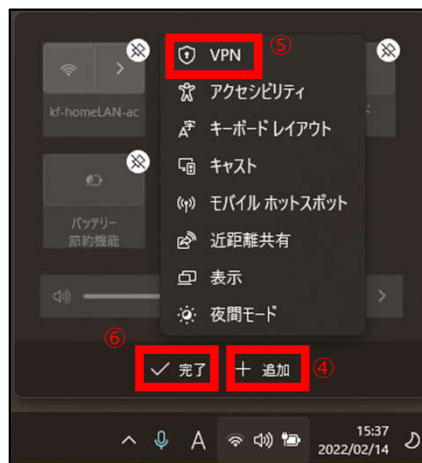
### <参考>

## VPNアイコン追加手順

- ① デスクトップに表示されているタスクバーの「ネットワーク状態」アイコンをクリックして一覧を開きます
- ② 表示された画面の下部 (赤枠の部分) を右クリックします
- ③ “クイック設定の編集”をクリックします



- ④ “追加”をクリックします
- ⑤ “VPN”をクリックします
- ⑥ “完了”をクリックします




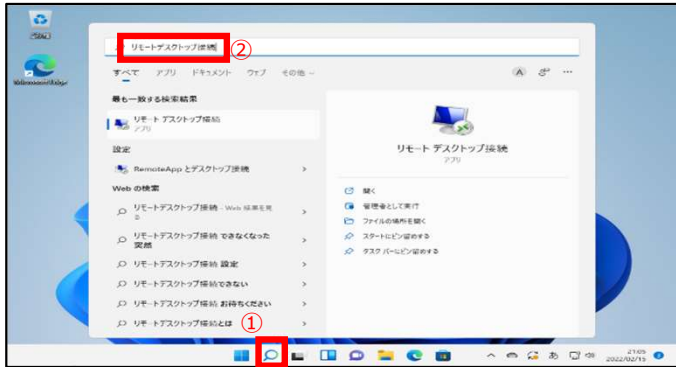
以上でVPNアイコン追加手順は終了です。

# 3.外出先に持ち出す端末への設定

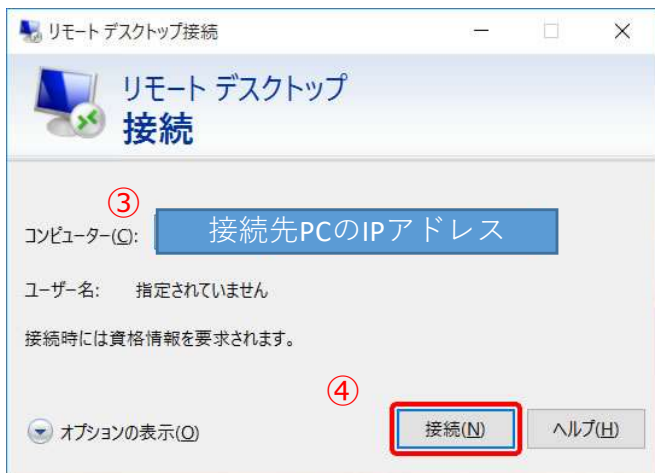
## (1) Windows11端末版・接続手順 (2)リモートデスクトップ接続

リモートデスクトップ接続を利用する方の手順です。  
社内LAN接続方式を利用する場合は本頁の設定はせず、次頁の設定を実施してください。

- ① タスクバーの「」をクリックします
- ② 表示されたウィンドウの検索欄に、「リモートデスクトップ接続」と入力し、Enterキーを押します。



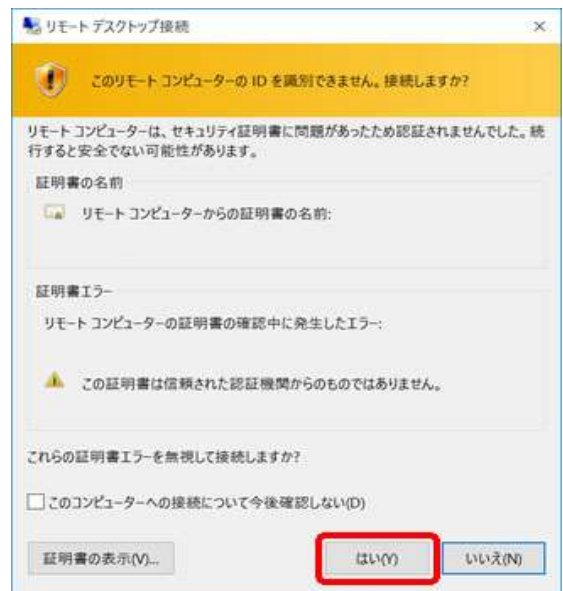
- ③ “コンピューター”欄にリモートデスクトップ接続先PCの接続先のIPアドレスを入力します。  
※確認方法は事前準備編 3 - (2) を参照
- ④ “接続” をクリックします。



- ⑤ 接続に成功すると『Windows セキュリティ』画面が表示されますので、接続先PCのログインする際に使用する“ユーザー名”と“パスワード”を入力します。
- ⑥ “OK” をクリックします。



接続先PCのデスクトップが表示されたら接続成功です  
下記のメッセージ画面が出た場合は、「はい」をクリックして閉じてください。



以上で設定は終了です。  
※ログインできない場合、ログインに使用するユーザー名が異なっている場合があります。接続先端末がWindows10の場合P8、Windows11の場合P13の手順も併せてご確認ください

# 3.外出先に持ち出す端末への設定

## (1) Windows11端末版・接続手順 (③社内LAN接続)

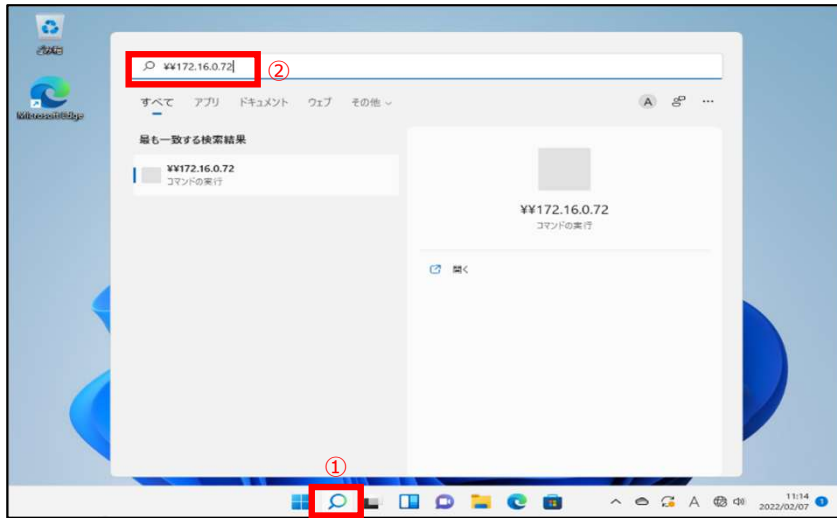
社内LAN接続方式を利用する方の手順です。

リモートデスクトップ接続を利用する場合は本頁の設定はせず、前頁の設定を実施してください。

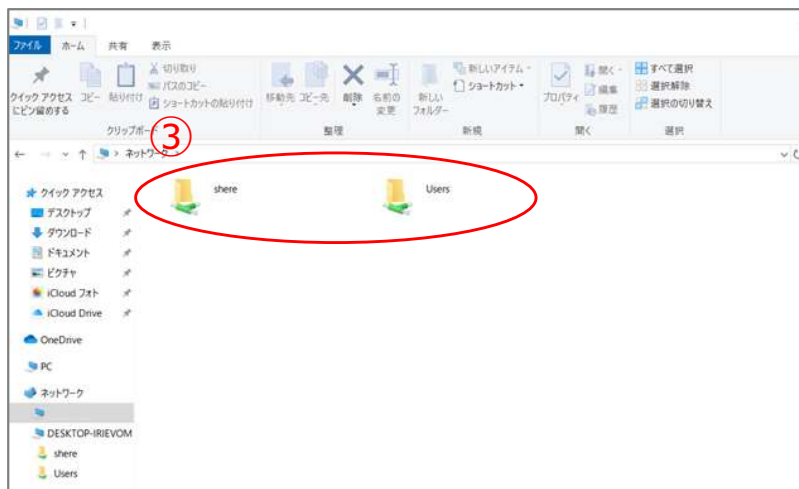
① タスクバーの「」をクリックします


② 表示されたウィンドウの検索欄に、「¥¥接続したいサーバ・端末のIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

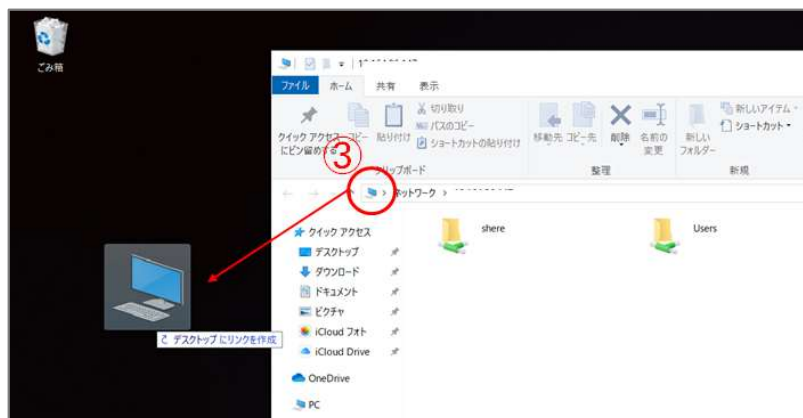
(例) ¥¥172.16.0.72



③ 入力した接続先が表示されますので、閲覧できるか確認します。接続できたら設定は終了です。



【参考】  の部分をデスクトップにドラックするとショートカットが作成でき、次回以降のアクセスが簡単になります。



# 3.外出先に持ち出す端末への設定

## (2) MacOS端末版・事前設定 (①VPN設定)

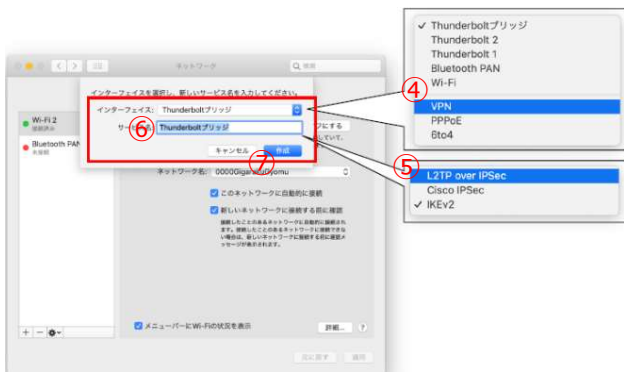
- ① デスクトップ右上の“ネットワークアイコン”をクリックします。  
インターネット未接続時は扇マーク、  
Wi-Fi接続時はWi-Fiマークになっています。
- ② “ネットワーク環境設定を開く”をクリックします。



- ③ ネットワークの画面左下の“+”をクリックします。



- ④ インターフェイスの項目で“VPN”を選択します。
- ⑤ VPNタイプを“L2TP over IPsec”を選択します。
- ⑥ サービス名を入力します。任意の名前で構いません。
- ⑦ “作成”をクリックします。



上記までが完了すると、作成した項目が追加されますので  
クリックします



- ⑧ サーバアドレス欄にギガらくルーターType-Cのダッシュボード  
で確認した「ホスト名」を入力
- ⑨ アカウント名欄に、ギガらくルーターType-Cの設定申込書  
で申請したアカウントIDとパスワードを入力
- ⑩ “詳細”をクリックしてください
- ⑪ “すべてのトラフィックをVPN接続経由で送信する”に  
チェックをいれて有効にします
- ⑫ “OK”をクリックします、
- ⑬ 画面が閉じたら“認証設定”をクリックします。



- ⑭ パスワードの欄に⑨で入力した  
アカウントの“パスワード”を入力します。  
※毎回パスワード確認する場合空欄でも可
- ⑮ 共有シークレットキーの欄に、ギガらくルーターType-C設  
定申込書にて申請した「シークレットキー」を入力します。
- ⑯ 入力完了したら“OK”をクリックします。



- ⑰ 設定を保存するために“適用”をクリックします。



以上で設定は完了です

# 3.外出先に持ち出す端末への設定

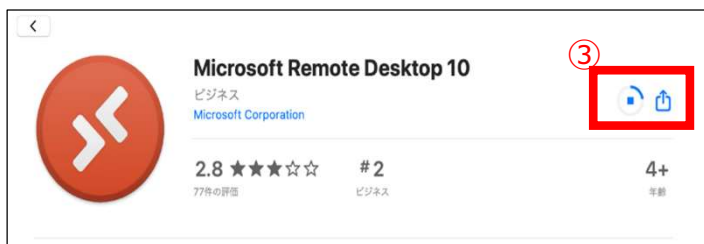
## (2) MacOS端末版・事前設定 (②リモートデスクトップ設定)

リモートデスクトップ接続を利用しない場合は、本項目の設定は不要です。

- ① デスクトップ下部・タスクバーの“App Store”をクリックします



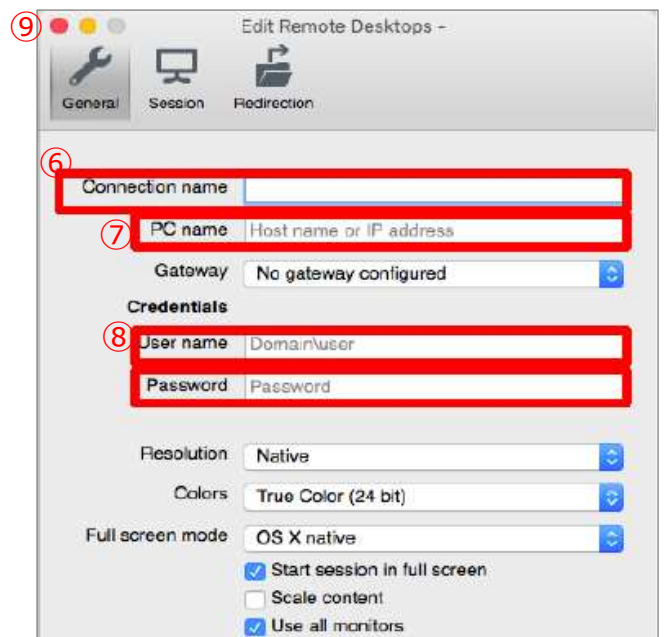
- ② 検索フォームに“Microsoft Remote Desktop”と検索してください
- ③ Microsoft Remote Desktopのアプリ詳細画面が表示されます  
画面右の「入手」のボタンをクリックしダウンロードします



- ④ ダウンロードが完了したら、Microsoft Remote Desktopを起動します (上記赤いアイコンです)
- 5. アプリが立ち上がったら“New”をクリックします



- ⑥ 「Connection name」へどのPCに接続するか後で分かるように“任意の名前”を入力してください
- ⑦ 「PC name」に接続する会社側PCの“IPアドレス”を入力します
- ⑧ 「User name」、「Password」に接続する会社側PCの“アカウント名・パスワード”を記入してください
- ⑨ 左上の“×”をクリックしてください



以上で設定は終了です

# 3.外出先に持ち出す端末への設定

## (2) MacOS端末版・接続手順 (①VPN接続)

① デスクトップ右上の“ネットワークアイコン”をクリックします。  
インターネット未接続時は扇マーク、  
Wi-Fi接続時はWi-Fiマークになっています。

② “ネットワーク環境設定を開く”をクリックします。



③ 作成したVPN接続を選択して“接続”をクリックします。



④ (任意) 設定時にパスワードを空欄で設定した場合  
このタイミングでパスワードを入力します。

⑤ “OK”をクリックします。



⑥ 状況が接続中に変ります。しばらくお待ちください。



⑦ 接続に成功すると、状況が“接続済み”に変わります。  
接続時間とVPN接続時のIPアドレスが表示されます。



以上で設定は完了です。  
接続に失敗する場合は次頁の「VPN接続できないときの主な対処法」を参照し、設定の見直しをお願いします。

# 3.外出先に持ち出す端末への設定

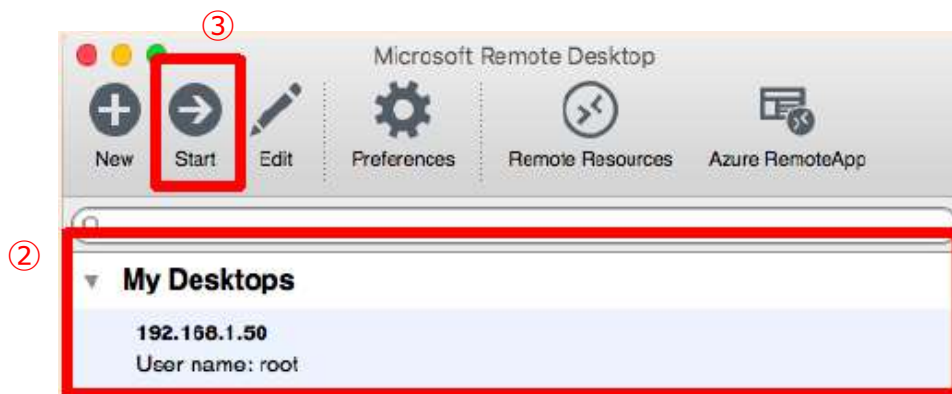
## (2) MacOS端末版・接続手順 (②リモートデスクトップ接続)

リモートデスクトップ接続を利用する方の手順です。  
社内LAN接続方式を利用する場合は本頁の設定はせず、次頁の設定を実施してください。

- ① Microsoft Remote Desktopを起動します  
(デスクトップにない場合は、アプリケーション一覧を確認してください)



- ② 作成した“任意の接続先PC”を選択します
- ③ “Start”をクリックします



接続先PCの画面が表示されたら、接続成功です

※PCのログイン画面が表示された場合は、会社側PCでいつも使用しているログインID・パスワードを入力してください

※ログインできない場合、ログインに使用するユーザ名が異なっている場合があります。

接続先端末がWindows10の場合P8、Windows11の場合P13の手順も併せてご確認ください



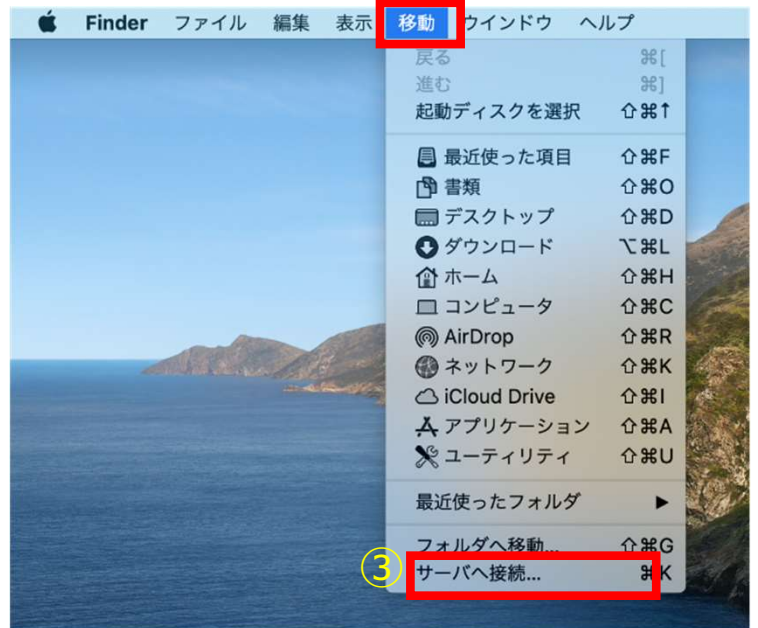
# 3.外出先に持ち出す端末への設定

## (2) MacOS端末版・接続手順 (③社内LAN接続方法)

- ① デスクトップ下部のタスクバーから「Finder」をクリックします
- ② “移動”をクリックします
- ③ 表示されたメニューの中から“サーバへ接続”をクリックしてください



①



- ④ 下記画面が表示されます。頭文字がコンピュータを選択できますので「smb://」を選択します
- ⑤ 接続したいサーバやシステムのIPアドレスをに入力してください
- ⑥ 入力完了後、“接続”をクリックしてください
- ⑦ 接続先が閲覧出来たら設定完了です。



### 3.外出先に持ち出す端末への設定

#### 【参考】VPN接続できないときの主な対処法（MacOS端末版）

エラーメッセージ	考えられる原因	対処法
認証できませんでした。	サーバアドレス（ホスト名）を誤って設定している	p27の設定⑧“サーバアドレス”の項目に誤りが無いか確認してください。
	アカウントID、パスワードを誤って設定している	p27の設定⑨“アカウントID”、設定⑭“パスワード”の項目に誤りが無いか確認してください。
L2TP-VPNサーバが応答しませんでした。接続し直してください。 それでも問題が解決しない場合は、設定を確認し、管理者に問い合わせてください。	共有シークレットキーを誤って設定している	p27ページの設定⑮“共有シークレットキー”の項目に誤りが無いか確認してください。
	同じ回線やネットワークでの折り返し通信になっているためエラーが発生している。	会社内で設定している場合に発生します。ギガらくルーターType-C装置を接続している回線とは別の回線から接続を試してみてください。 （モバイル回線などのテザリングなど、全く別の回線でお試ください）

# 3.外出先に持ち出す端末への設定

## (3) iOS端末編・VPN設定手順

- ① ホーム画面で“設定”アイコンをタップします
- ② 画面左の一覧内にある“一般”をタップします



- ③ 項目の中から“VPN”をタップします



- ④ “VPN構成を追加...”をタップします

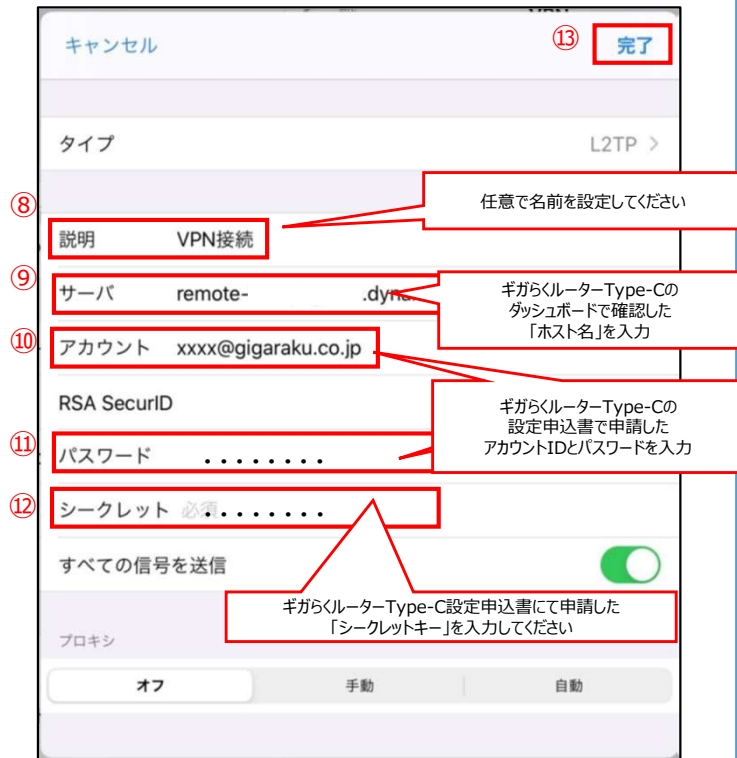


- ⑤ “タイプ”の項目をタップします
- ⑥ 表示された画面内で“L2TP”を選択します
- ⑦ “戻る”をタップします



- ⑧～⑫ VPN設定画面に戻りますので、下記の通り入力してください

- ⑬ 入力完了したら、“完了”をタップします



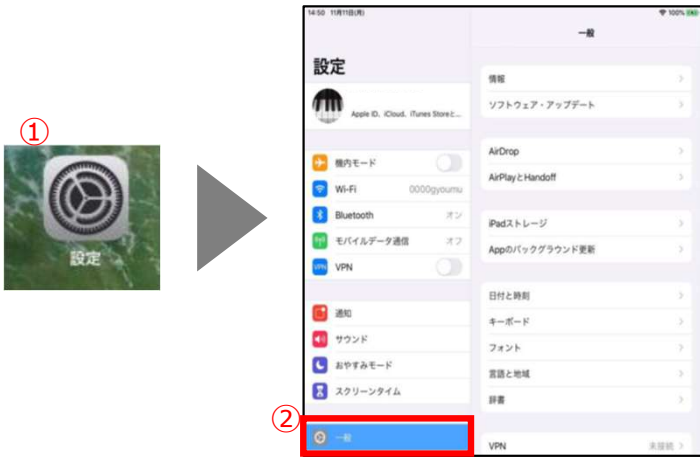
- ⑭ VPN接続の設定が追加されていれば設定完了です



# 3.外出先に持ち出す端末への設定

## (3) iOS端末編・VPN接続手順

- ① ホーム画面から“設定”を開きます
- ② メニュー左の“一般”をタップします



- ③ 項目の中から“VPN”をタップします



- ④ 事前準備編 2 で作成した“VPN接続先”をタップします



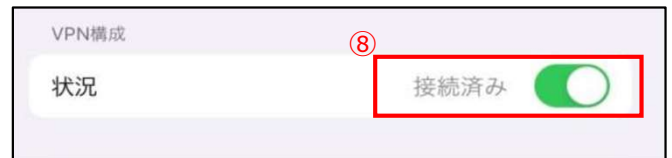
- ⑤ 接続したいVPNにチェックが付いたことを確認します
- ⑥ “未接続”の右のスイッチをタップします



- ⑦ 事前準備編 2 でパスワード欄を空欄にした場合には、パスワードが求められますので入力し、OKをタップします。  
※入力済みの場合は表示されないため、次へ進みます



- ⑧ “接続済み”と表示されれば、VPN接続は成功です



⚠ 接続がうまくいかない場合は・・・

エラーの一例になります。  
下記を参考に各項目を再度ご確認ください

- VPN接続用のユーザー名またはパスワードが間違っている場合



- 事前共有キーが間違っている場合



以上で設定は終了です。

# 3.外出先に持ち出す端末への設定

## (4) Andorid端末編・VPN設定手順

① ホーム画面から**“設定”**を開きます

⚠ 設定のアイコンは機種によって場所が異なりますので、ご注意ください

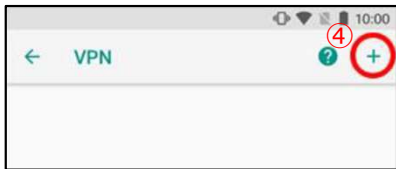


② **“ネットワークとインターネット”**をタップします

③ **“VPN”**をタップします



④ 画面右上の**“+”**をタップします



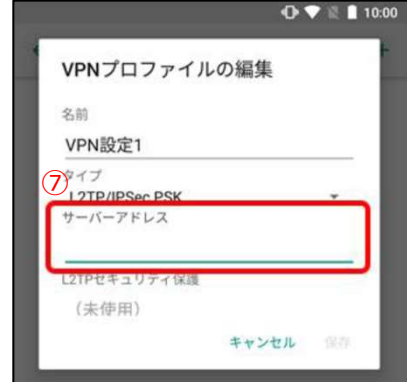
⑤ 「名前」欄をタップし任意のVPNの名前を入力します



⑥ 「タイプ」欄をタップし**“L2TP/IPSec PSK”**を選択します



⑦ 「サーバーアドレス」欄をタップし、ギガらくルーターType-Cのダッシュボードで確認した「ホスト名」を入力



⑧ 「IPSec事前共有鍵」欄にギガらくルーターType-Cの設定申込書にて申請した**“シークレットキー”**を入力します

⑨ **“保存”**をタップします



⑩ 作成したVPNプロファイルが追加されていれば、設定完了です



# 3.外出先に持ち出す端末への設定

## (4) Andorid端末編・VPN接続手順

### ① ホーム画面から“設定”を開きます

⚠ 設定のアイコンは機種によって場所が異なりますので、ご注意ください



### ② “ネットワークとインターネット”をタップします

### ③ “VPN”をタップします



### ④ 事前準備編 2 で作成したVPN接続先をタップします



### ⑤ ギガらくルーターType-C設定申込書で申請したアカウント（メールアドレス）とパスワードを入力します

- ※ 本画面が表示されない場合は、次の項目に進んでください
- ※ “アカウント情報を保存する”にチェックを入れると次回以降は本項目を入力不要で接続できます

### ⑥ “接続”をタップします




### ⑦ “接続されました”と表示されれば、接続成功です

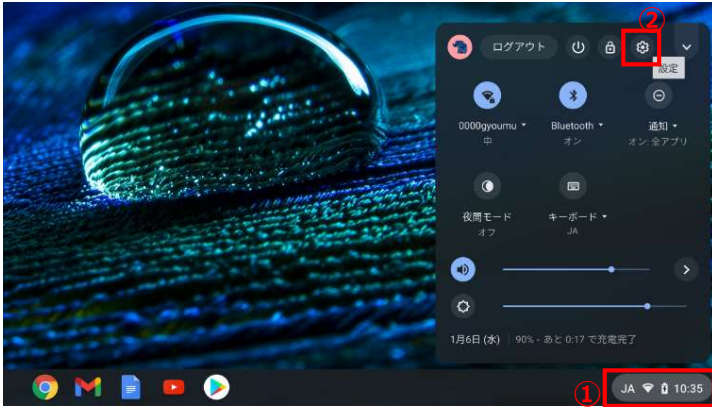
※接続に失敗する場合は、シークレットキーやアカウント・パスワード等が正しく入力されているか確認してください



# 3.外出先に持ち出す端末への設定

## (5) ChromeOS端末編・VPN設定手順

- ① 画面右下の赤枠箇所をクリックし、クイックコントロールを開きます。
- ② 「」をクリックします



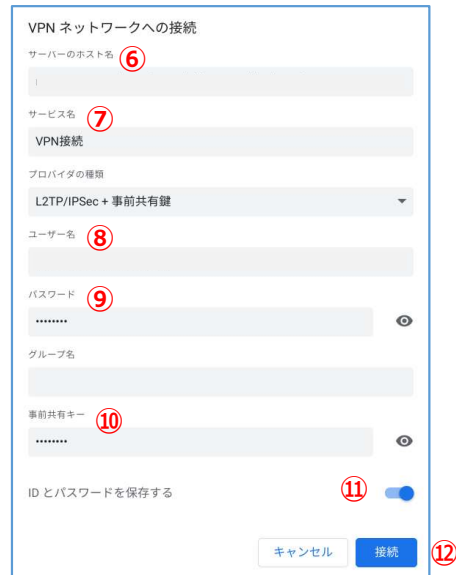
- ③ ネットワークをクリックし、“接続を追加”をクリックします。
- ④ 表示された項目内の“OpenVPN / L2TPを追加”をクリックします。



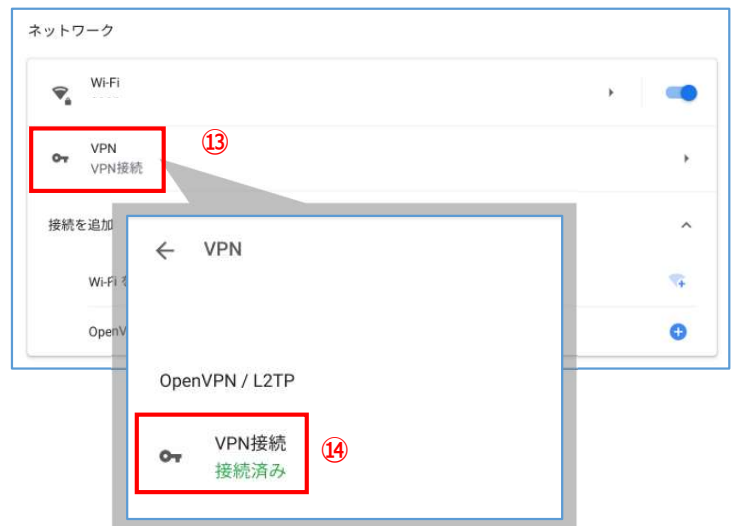
- ⑤ ウィンドウが開きますので、プロバイダの種類欄を“L2TP/IPSec+事前共有鍵”に設定します。



- ⑥ ギガらくルーターType-Cのダッシュボードで確認した「ホスト名」を入力
- ⑦ 任意の名前を入力します
- ⑧ ギガらくルーターType-Cの設定申込書で申請したアカウントIDを入力
- ⑨ ギガらくルーターType-Cの設定申込書で申請したパスワードを入力
- ⑩ ギガらくルーターType-Cの設定申込書で申請した事前共有キーを入力
- ⑪ <任意> 本項目にチェックを入れると、次回VPN接続時のアカウントID・パスワードの入力を省略できます
- ⑫ 接続をクリックして設定内容を保存、接続を開始します




- ⑬ 設定完了後、“VPN”をクリックします
- ⑭ VPN接続が正常に完了した場合、“接続済み”と表示されます。



以上で設定は終了です。

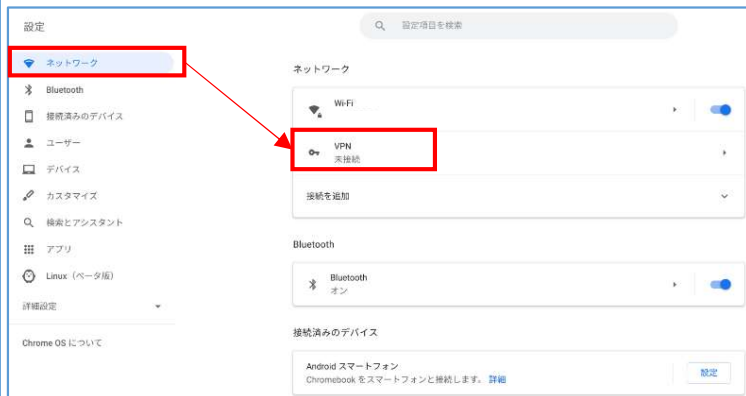
# 3.外出先に持ち出す端末への設定

## (5) ChromeOS端末編・VPN接続手順

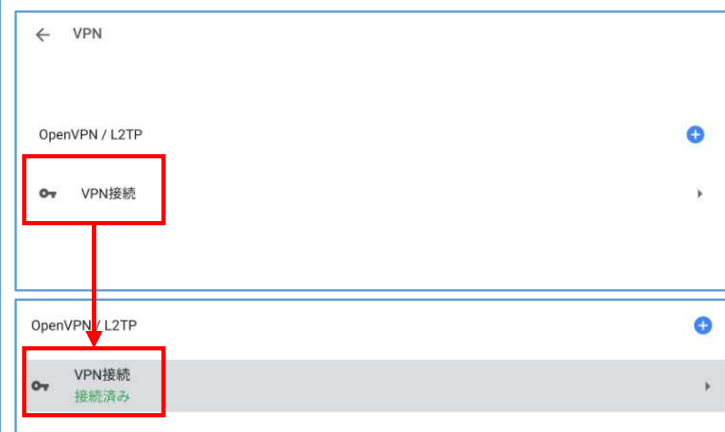
- ① 画面右下をクリックするとクイックコントロールが開きます。
- ② 「」をクリックします。




- ③ ネットワークをクリックし、“VPN”をクリックします。



- ④ VPN接続先一覧が表示されますので、作成した接続先名をクリックすると接続を開始します。  
“**接続中**”が“**接続済み**”に変われば完了です。



【参考】クイックコントロールから簡易に接続する方法

- ① 画面右下をクリックするとクイックコントロールが開きます。
- ② 「」をクリックします。  
※クイックコントロールの表示設定により、上記マークが表示されない場合があります



- ③ 作成した接続先名をクリックします。



- ④ VPN接続が開始されます。  
“**接続中**”が“**接続済み**”に変われば完了です。



# 3.外出先に持ち出す端末への設定

## (6) iOS/Andorid/ChromeOS端末編・リモートデスクトップアプリの設定

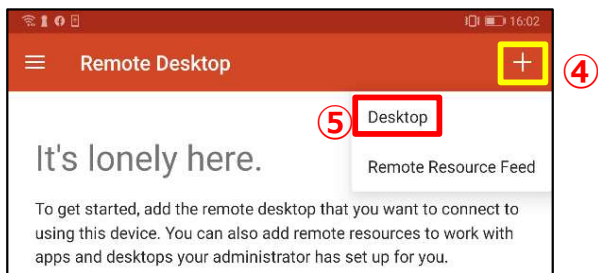
### 1 リモートデスクトップアプリのダウンロード

- ① iOS端末の場合はApp Storeを、Android OS、ChromeOS の場合はPlayストアを開きます
- ② 『Microsoft Remote Desktop』を検索して、ダウンロードします  
※Android、ChromeOSの場合2つ表示されますが『Remote Desktop 8』は古いバージョンです。

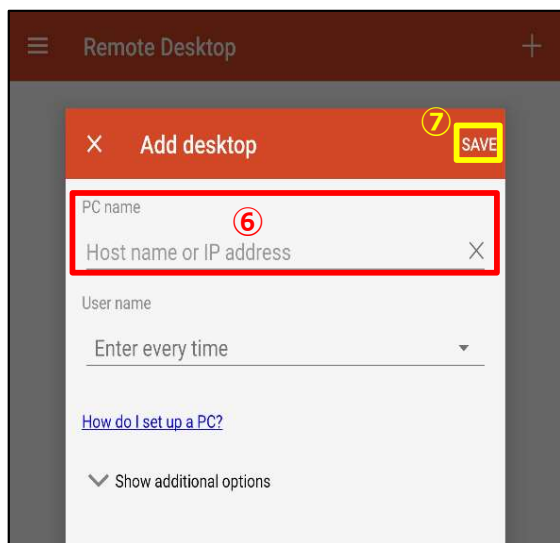


### 2 アプリの設定

- ③ ダウンロードが完了したら、ホーム画面にて『 Microsoft Remote Desktop (リモートデスクトップ) 』アプリのアイコンをタップします。
- ④ 右上の“+”を押下します
- ⑤ “Desktop” (もしくは“PCまたはサーバーの追加”と表示されています) をタップします。



- ⑥ “PC name” (もしくは“PC名”と表示されています) の項目に接続する会社側PCのIPアドレスを入力。
- ⑦ “SAVE”をタップします。



以上で設定は終了です。

### 3.外出先に持ち出す端末への設定

#### (6) iOS/Andorid/ChromeOS端末編・リモートデスクトップアプリの接続

- ① ホーム画面にて、『Microsoft Remote Desktop (リモートデスクトップ)』アプリのアイコンをタップします。
- ② 事前準備編 2 - (2) 設定しリモートデスクトップ接続先をタップします

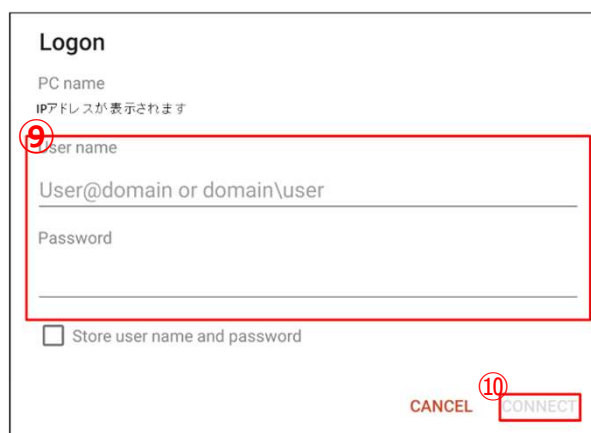
① アプリのアイコンをタップ



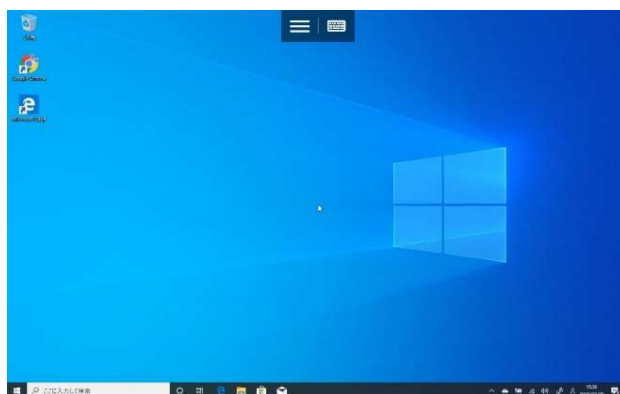
②



- ⑨ 接続の際にユーザー名とパスワードが求められます (接続先PCのログインIDとパスワード)
- ⑩ "CONNECT"をタップしてください

The image shows a 'Logon' dialog box. It has a title bar 'Logon' and a subtitle 'PC name'. Below that, it says 'IPアドレスが表示されます'. There are two input fields: 'User name' and 'Password'. The 'User name' field contains the text 'User@domain or domain\user'. A red box highlights the 'User name' field and is labeled with a circled '9'. At the bottom right, there are two buttons: 'CANCEL' and 'CONNECT'. The 'CONNECT' button is highlighted with a red box and labeled with a circled '10'. There is also a checkbox labeled 'Store user name and password' which is currently unchecked.

- ⑪ 接続に成功すると、デスクトップが表示されます



以上で設定は終了です。

※ログインできない場合、ログインに使用するユーザー名が 異なっている場合があります。

接続先端末がWindows10の場合P8、Windows11の場合P13の手順も併せてご確認ください